

ガーデンルームGF デッキ編 (タイルデッキ)

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：床1a、床1b、床2c等)
締結部品の種類は「梱包明細表編(E476)」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

-  **注意**
 - 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
 - ガーデンルームGFの施工は「ガーデンルームGF 本体編 取付説明書(E472)」で施工してください。
 - 本製品は一般住宅の地上階設置用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
-  **お願い**
 - 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
 - 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
 - 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
 - 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
 - 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

施工上のご注意

注意

- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m ± 0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - ・φ5ネジ：3.0N・m ± 0.5N・m (30±5kgf・cm)
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。

お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

目次

1	施工時の重要確認事項	3	5	ガーデンルームGF内面タイル部分施工工程一覧	12
1-1	大引きの移動について	3	6	内面デッキの設置	13
1-2	タイルの現場加工について	3	6-1	束柱、大引きの取付け	13
1-3	基礎について	3	6-2	束柱の取付け	14
2	納まり図	3	6-3	大引の取付け	15
2-1	床部	3	6-4	根太の取付け	18
3	基礎伏図(インナーデッキ)	4	6-5	タイルの取付け	20
3-1	単体	4	6-6	デッキ見切り材とコーナー部品の貼付け	23
4	デッキ割付図(インナーデッキ)	8	7	収納網戸の取付け	24
4-1	単体	8	7-1	下枠の取付け	24

取付説明書区分表

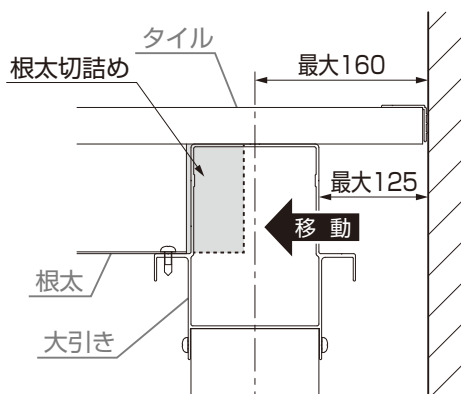
施 工 手 順	使用する取付説明書	取説コード
本体の取付け	ガーデンルームGF ー本体編ー	E472
束柱の位置決め	ガーデンルームGF ータイルデッキ編ー	EXM-102
基礎の施工	タイルデッキ	E435
束柱・大引の取付け	ガーデンルームGF ータイルデッキ編ー	EXM-102
内面デッキの張付け	ガーデンルームGF ータイルデッキ編ー	EXM-102
束柱・大引の取付け	タイルデッキ	E435
筋交いの取付け	ガーデンルームGF ータイルデッキ編ー	EXM-102
インナーデッキ用 床幕板の取付け	ガーデンルームGF ー本体編ー	E472

1 施工時の重要確認事項

1-1 大引きの移動について

お願い

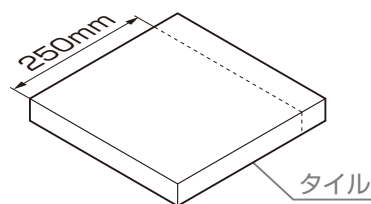
- 躯体の干渉物を避けるため、大引きを移動する場合は右記の寸法以内としてください。
なお、大引きを移動する場合は根太の切詰め加工が必要です。



1-2 タイルの現場加工について

お願い

- タイルを切詰する場合は幅が250mm以上になるようにしてください。



1-3 基礎について

重要

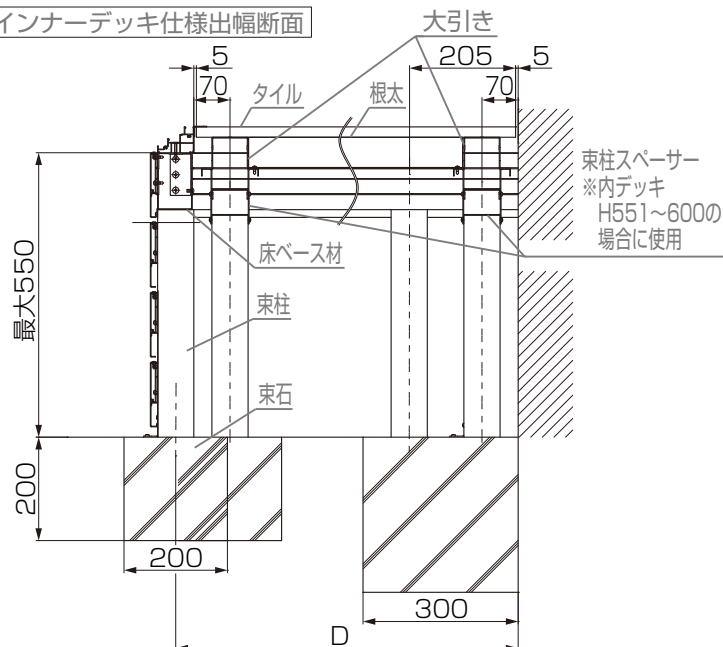
- ガーデンルームGFベース材下束柱とタイルデッキ大引き下束柱どうしが近接する箇所は、300角束石を使用してください。(基礎伏図を参照してください。)
- タイルデッキ大引き下束柱が主柱、中間柱に近接する箇所は、主柱、中間柱の基礎石に固定するため、基礎天面を平滑に仕上げてください。

2 納まり図

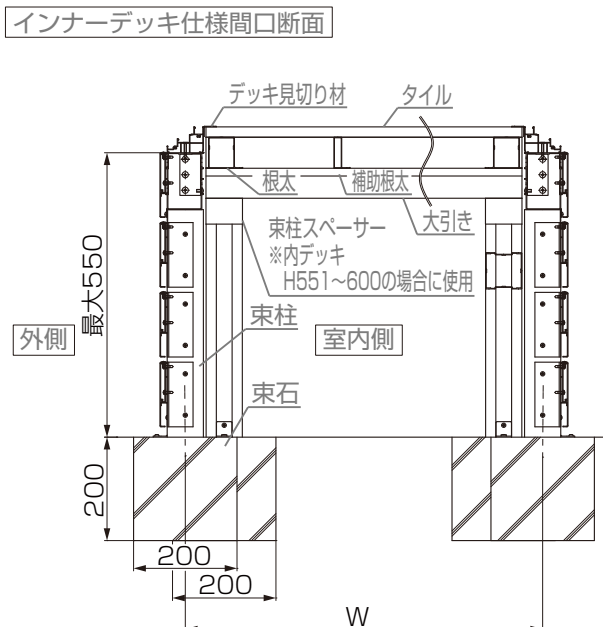
2-1 床部

2-1-1 デッキ納まり

インナーデッキ仕様出幅断面



インナーデッキ仕様間口断面



3 基礎伏図（インナーデッキ）

3-1 単体

3-1-1 基本

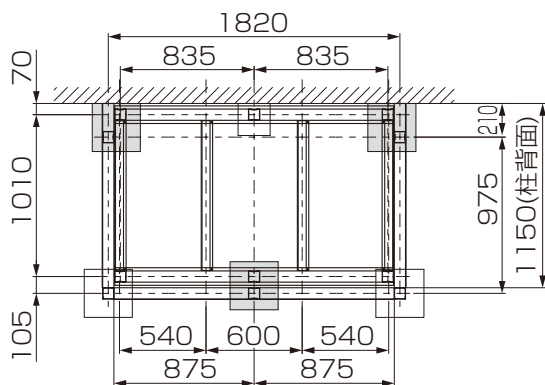
(1) 1.0間

▼重要▼

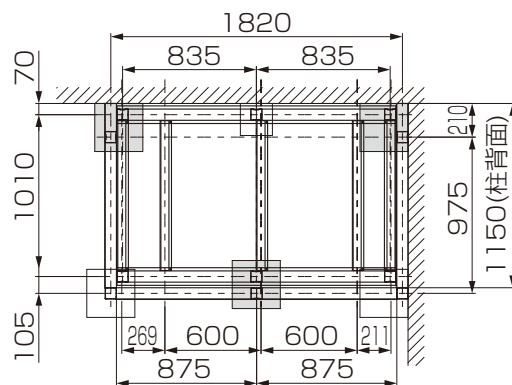
●ガーデンルームGFベース材下束柱とタイルデッキ大引き下束柱どうしが近接する箇所は、300角束石を使用してください。（基礎伏図の網掛けを参照してください。）

4尺

▼標準▼

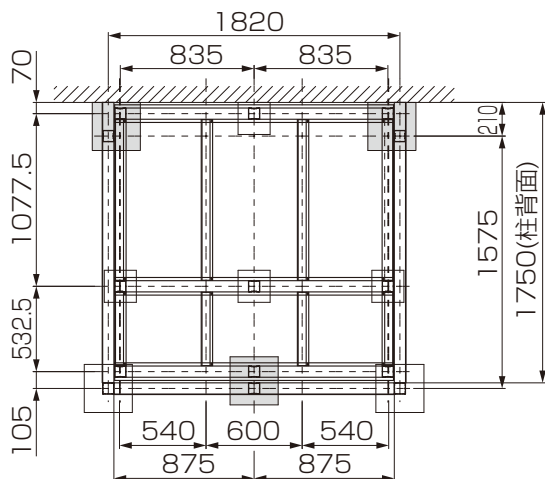


▼入隅▼

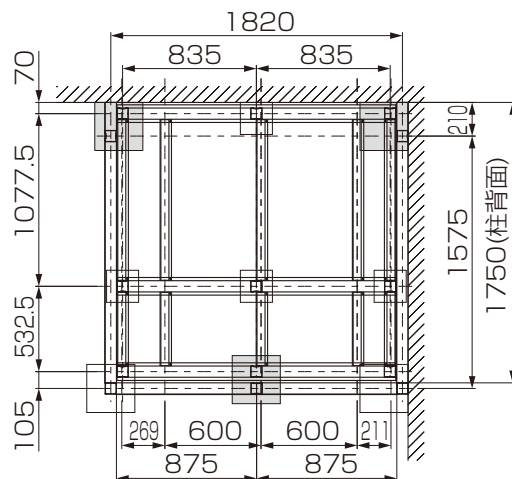


6尺

▼標準▼

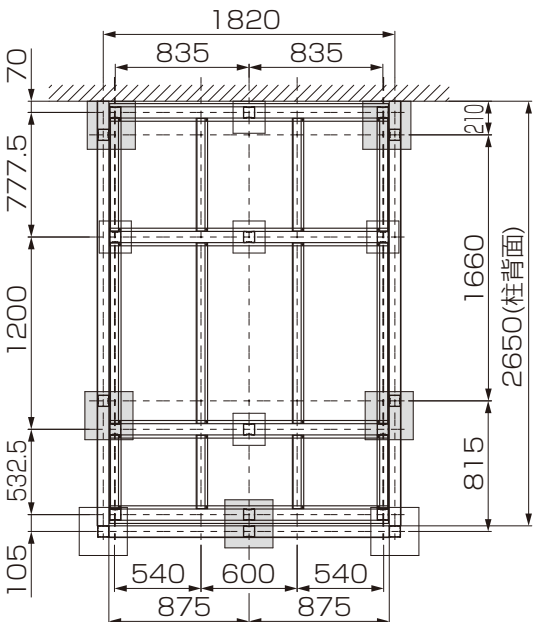


▼入隅▼

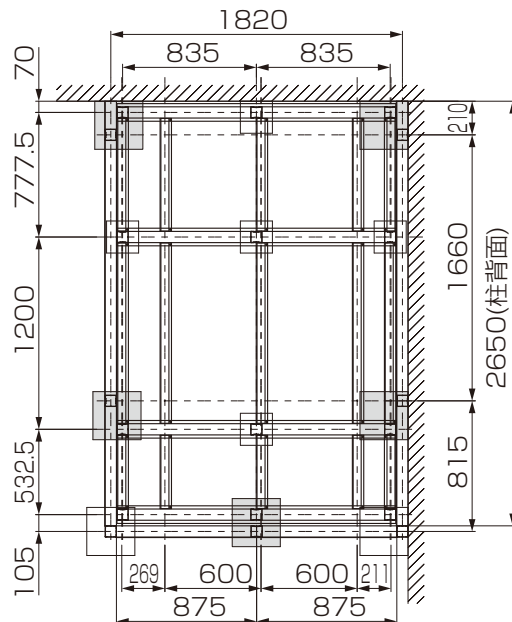


9尺

▼標準▼



▼入隅▼



3 基礎伏図（インナーデッキ）

3-1 単体

つづき

3-1-1 基本

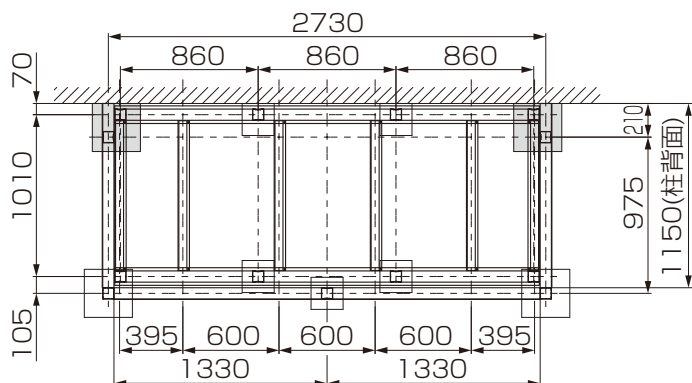
(2) 1.5間

重要

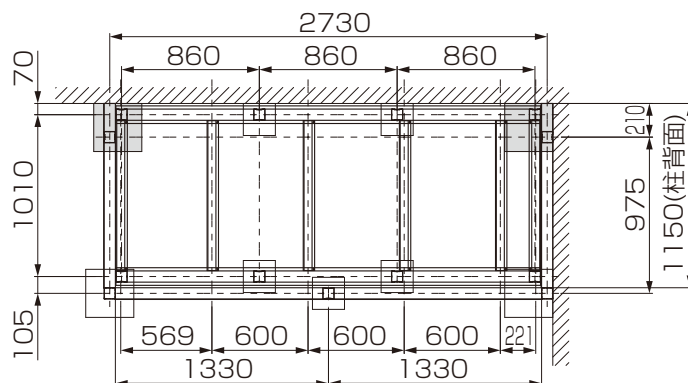
●ガーデンルームGFベース材下束柱とタイルデッキ大引き下束柱どうしが近接する箇所は、300角束石を使用してください。（基礎伏図の網掛けを参照してください。）

4尺

▼標準▼

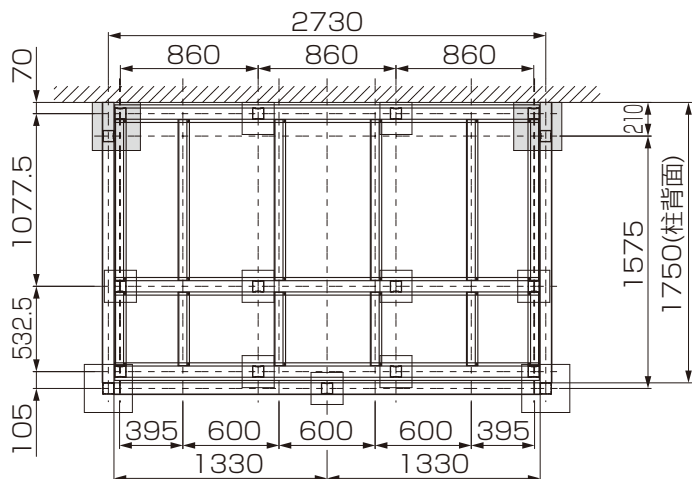


▼入隅▼

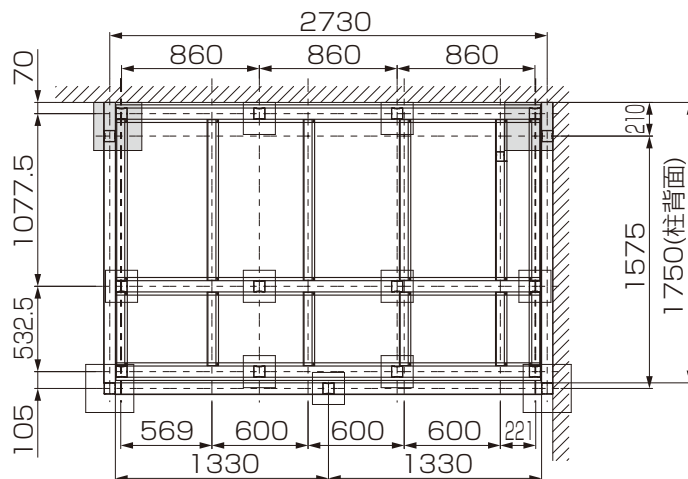


6尺

▼標準▼

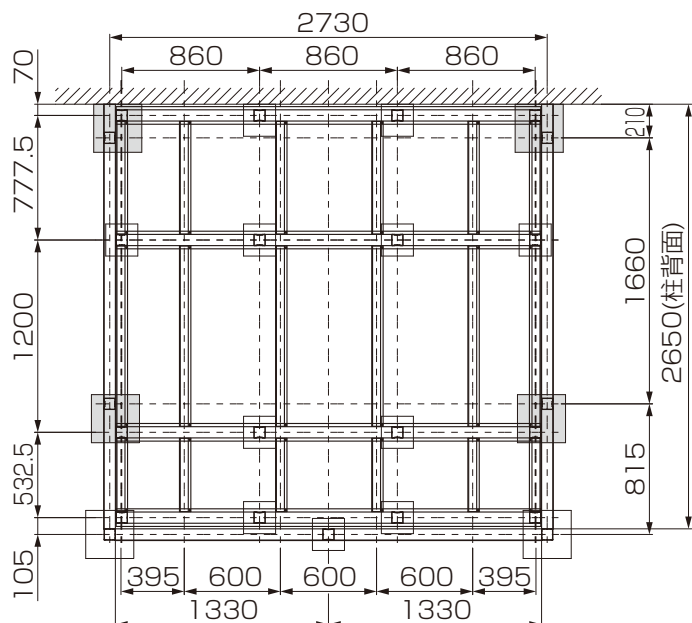


▼入隅▼

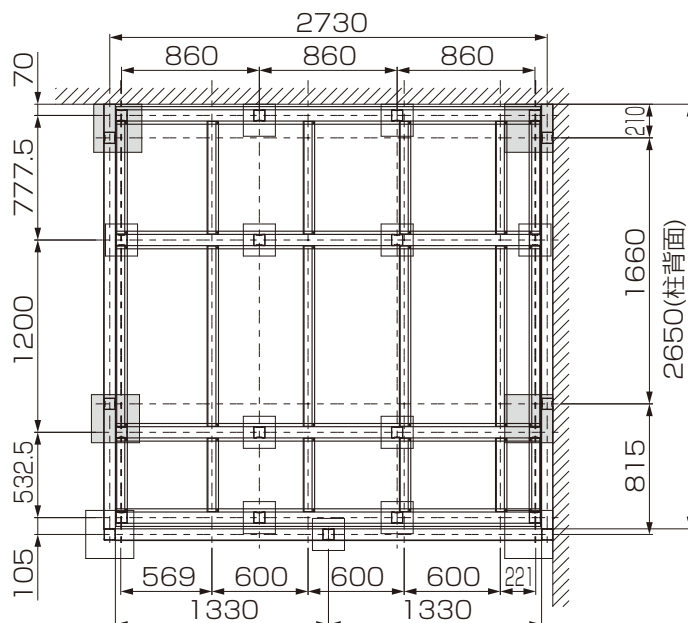


9尺

▼標準▼



▼入隅▼



3-1-1 基本

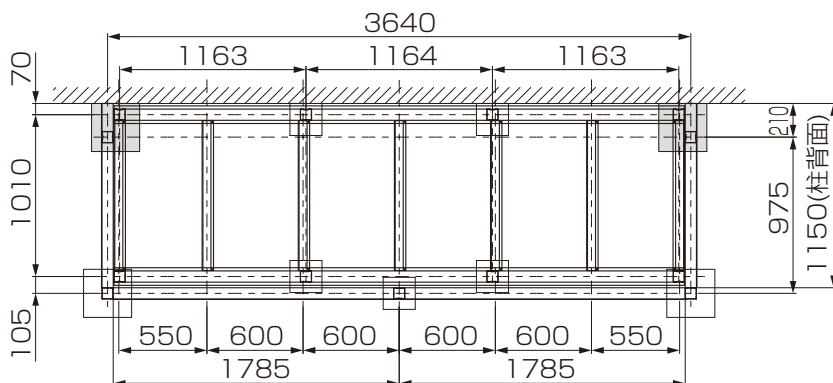
(3) 2.0間

重要

● ガーデンルームGFベース材下束柱とタイルデッキ大引き下束柱どうしが近接する箇所は、300角束石を使用してください。（基礎伏図の網掛けを参照してください。）

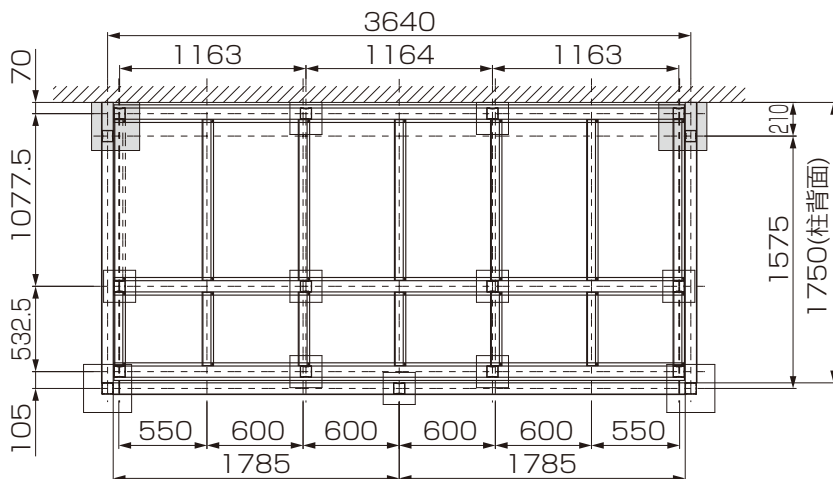
4尺

▼ 標準 ▼



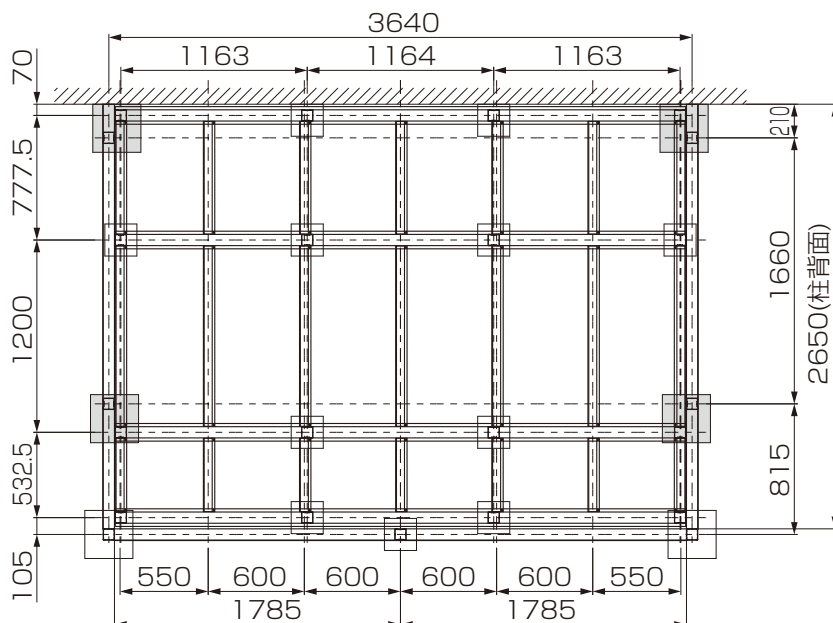
6尺

▼ 標準 ▼



9尺

▼ 標準 ▼



3 基礎伏図（インナーデッキ）

3-1 単体

つづき

3-1-1 基本

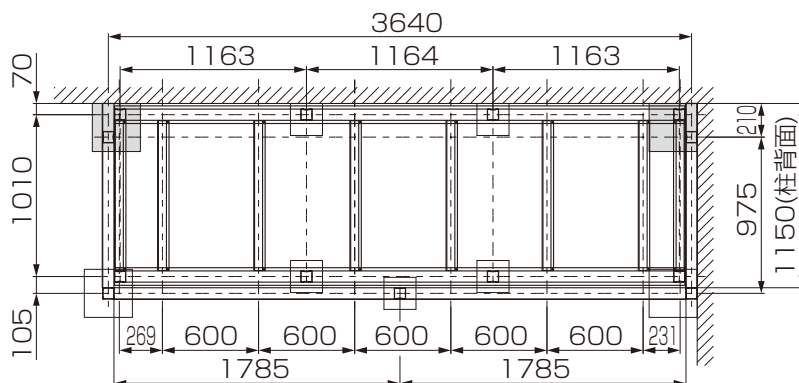
(3) 2.0間

■重要

●ガーデンルームGFベース材下束柱とタイルデッキ大引き下束柱どうしが近接する箇所は、300角束石を使用してください。（基礎伏図の網掛けを参照してください。）

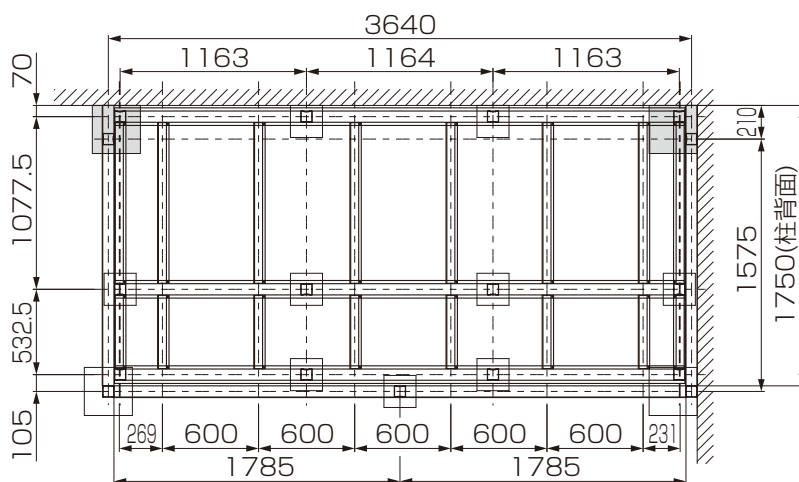
4尺

▼入 隅▼



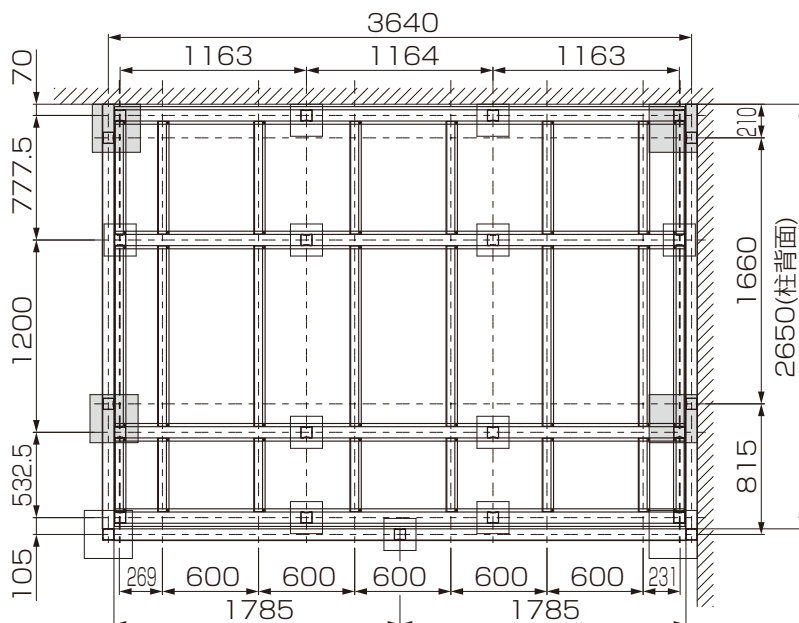
6尺

▼入 隅▼



9尺

▼入 隅▼



4 デッキ割付図（インナーデッキ）

4-1 単体

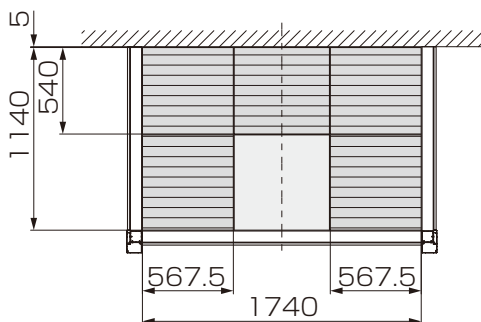
4-1-1 基本

(1) 1.0間

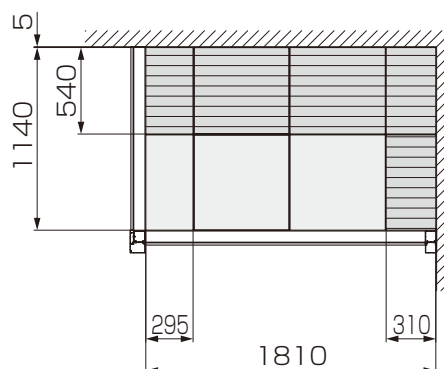
●  部分は切断加工タイルです

4尺

▼ 標準 ▼

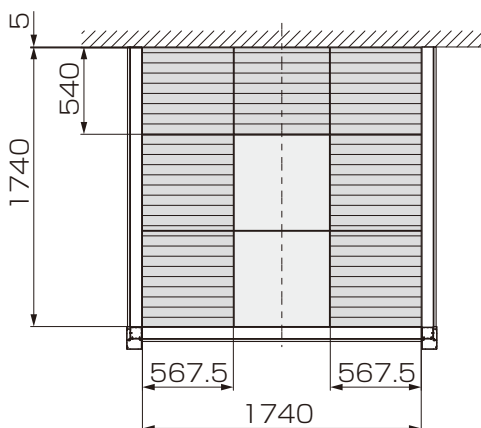


▼ 入隅 ▼

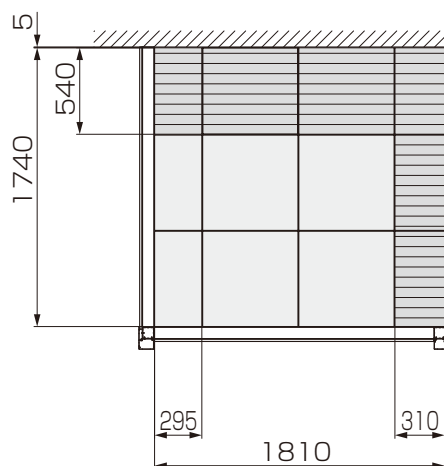


6尺

▼ 標準 ▼

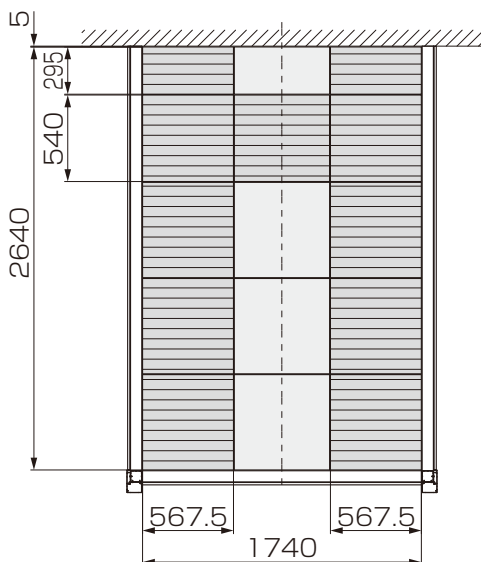


▼ 入隅 ▼

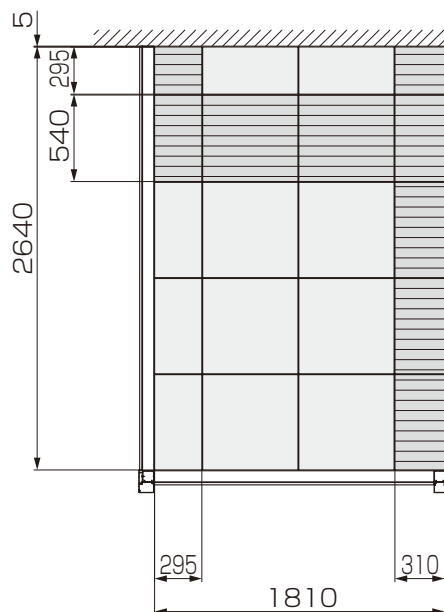


9尺

▼ 標準 ▼



▼ 入隅 ▼



4 デッキ割付図（インナーデッキ）

4-1 単体

つづき

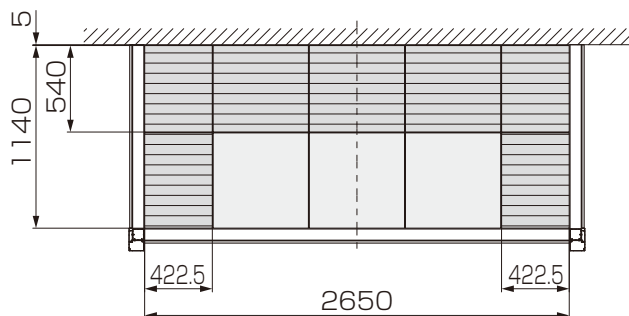
4-1-1 基本

(2) 1.5間

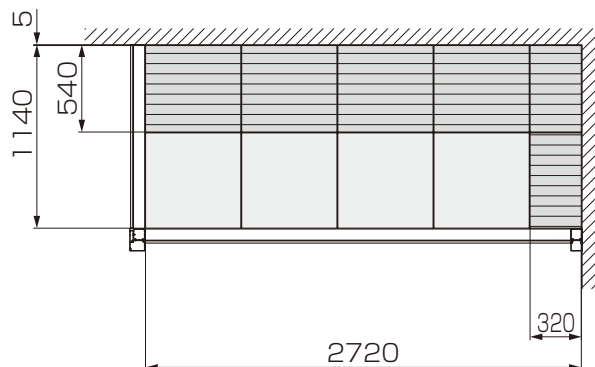
●  部分は切断加工タイルです

4尺

▼ 標準 ▼

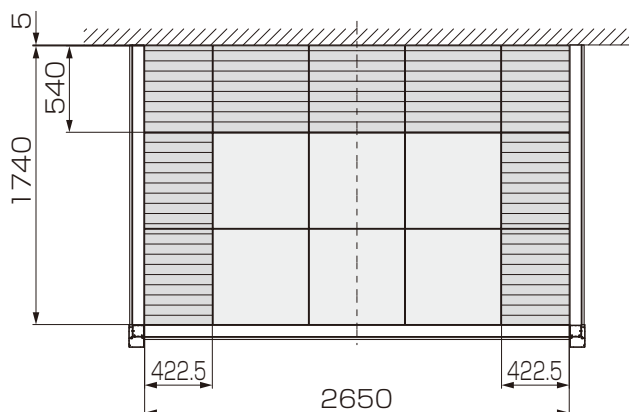


▼ 入隅 ▼

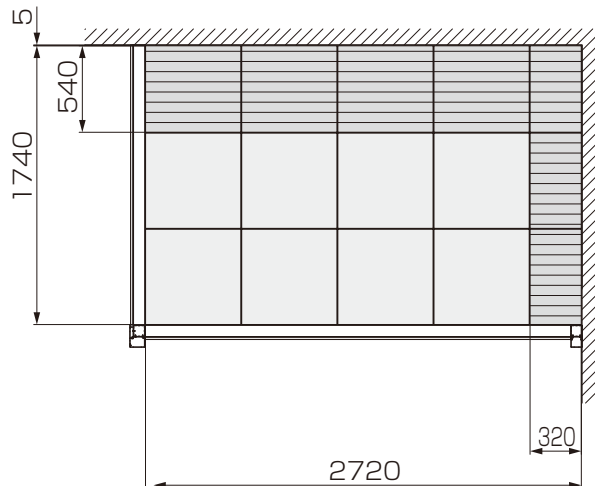


6尺

▼ 標準 ▼

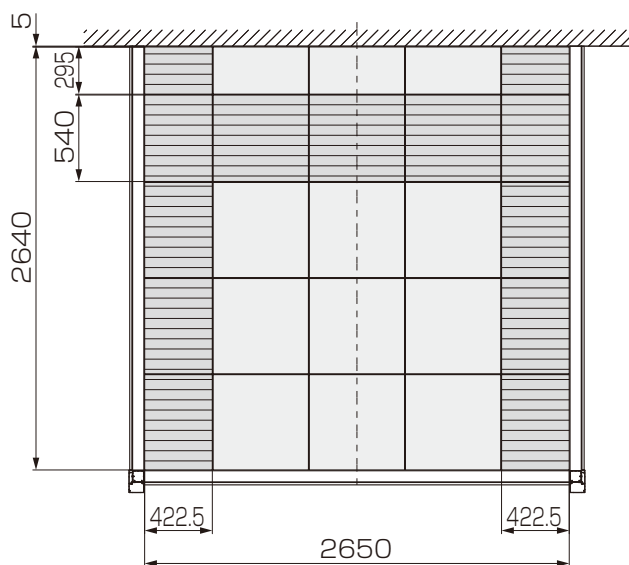


▼ 入隅 ▼

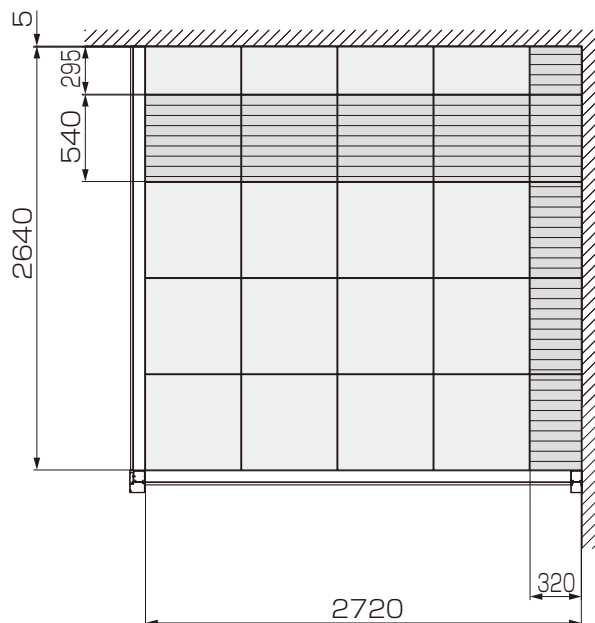


9尺

▼ 標準 ▼



▼ 入隅 ▼



4 デッキ割付図（インナーデッキ）

4-1 単体

つづき

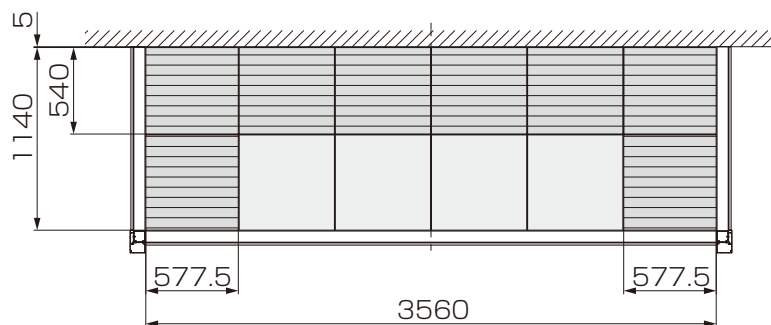
4-1-1 基本

(3) 2.0間

●  部分は切断加工タイルです

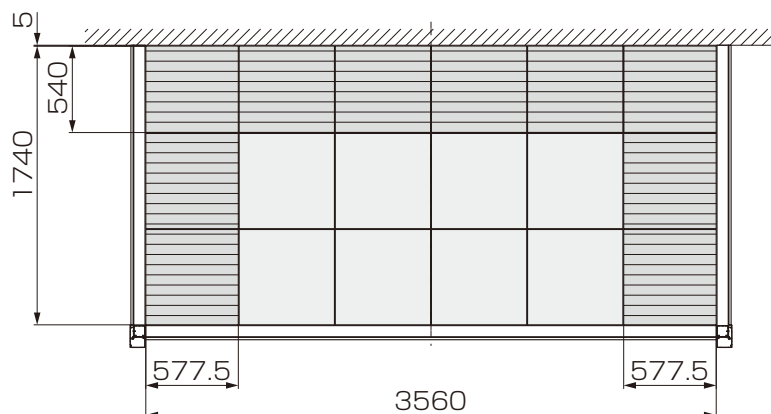
4尺

▼ 標 準 ▼



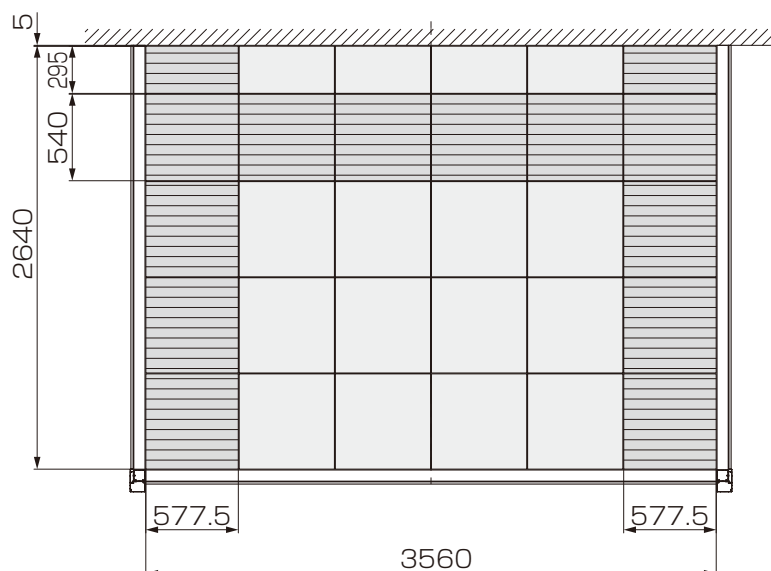
6尺

▼ 標 準 ▼



9尺

▼ 標 準 ▼



4 デッキ割付図（インナーデッキ）

4-1 単体

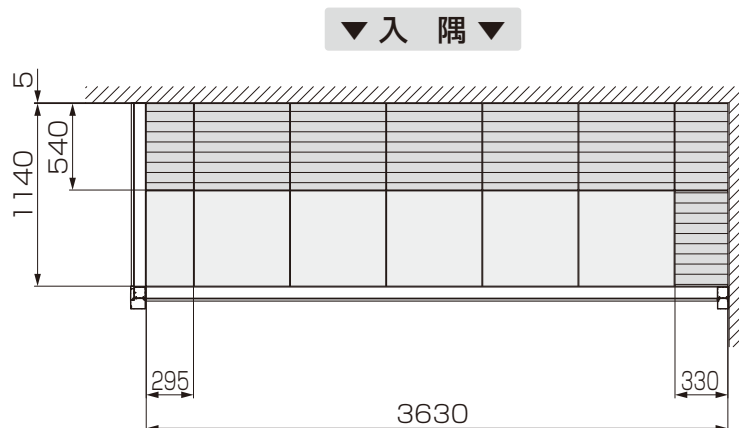
つづき

4-1-1 基本

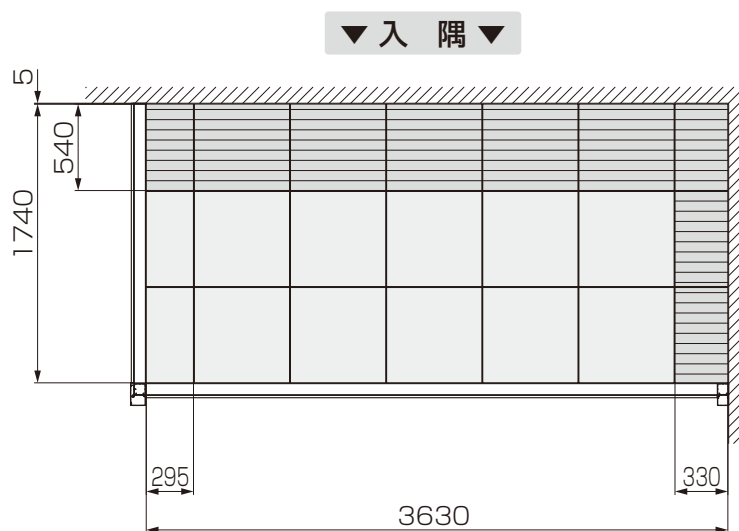
(3) 2.0間

●  部分は切断加工タイルです

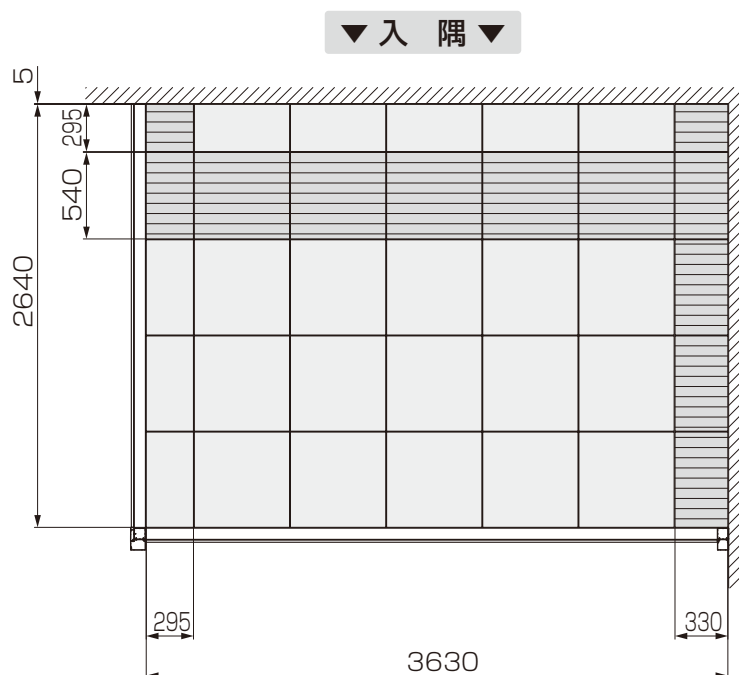
4尺



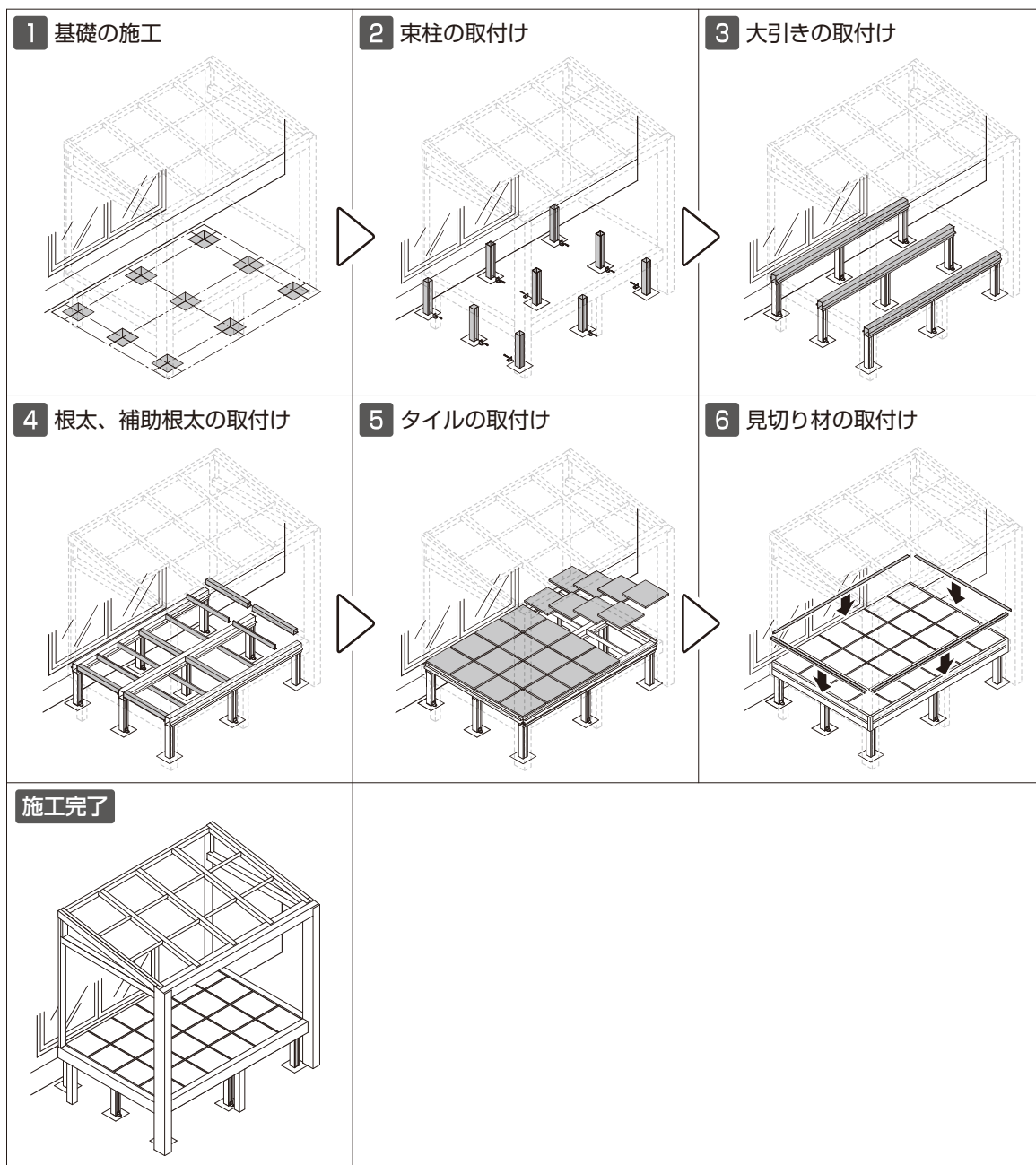
6尺



9尺



5 ガーデンルームGF内面タイル部分施工工程一覧



6 内面デッキの設置

6-1 束柱、大引きの取付け

6-1-1 束柱の加工

1: 内面デッキ上面高さを確認

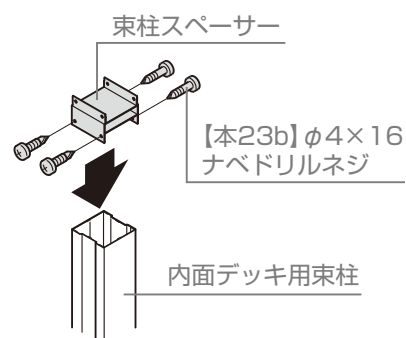
補足

- 内面デッキ上面高さは、F.L.(外面床レベル)+50mmです。

お願い 1

▼ 内面床高さがGL+550mm を超える場合 ▼

- 束柱に束柱スペーサーを【本23b】で取付けてください。
- 束柱長さは束柱スペーサーを含めた寸法で調整してください。



2: 束柱を切断

お願い

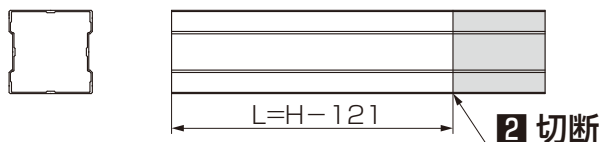
▼ 束柱Aの場合 ▼

- 内面デッキ床高さは220mm以上にしてください。

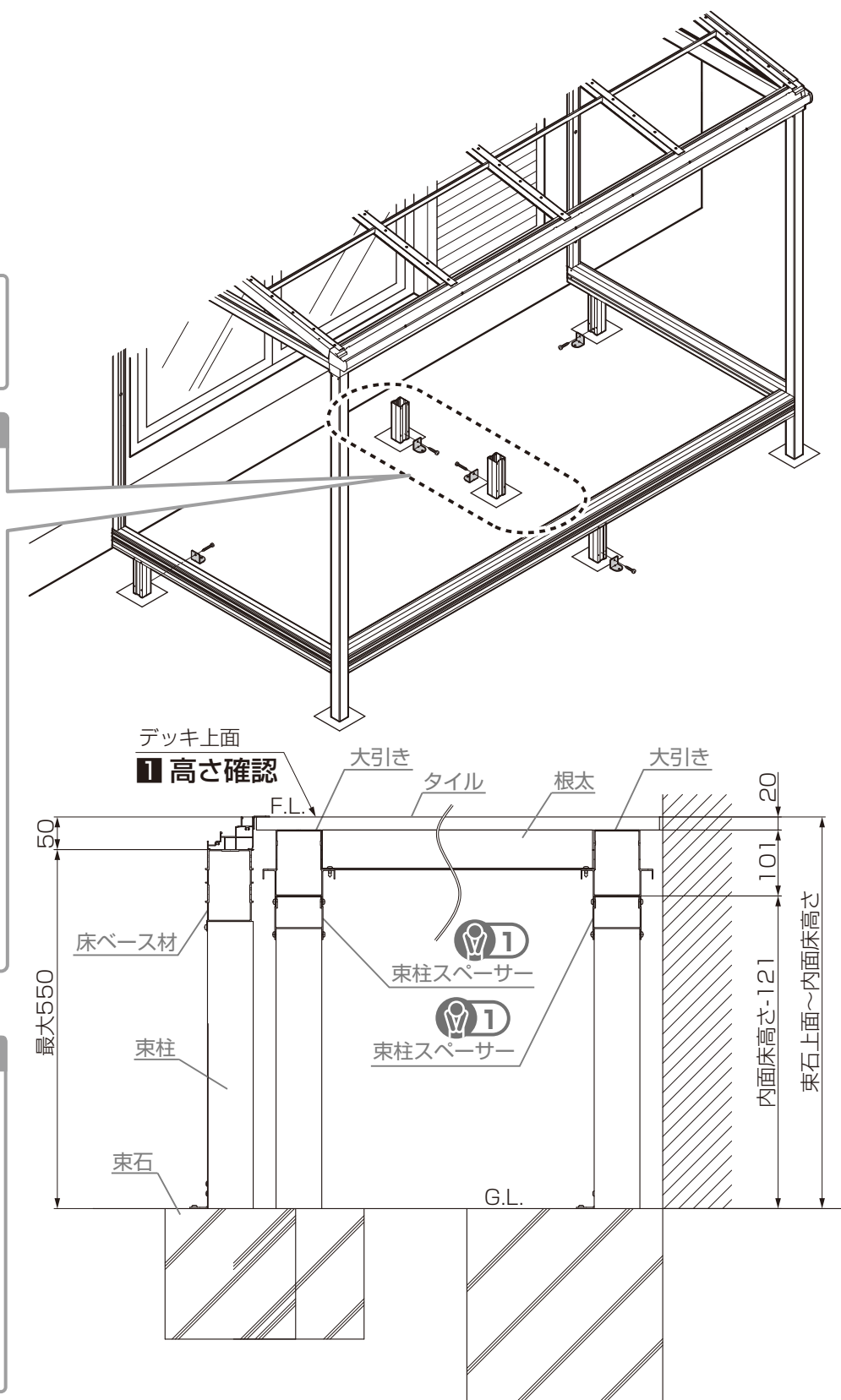
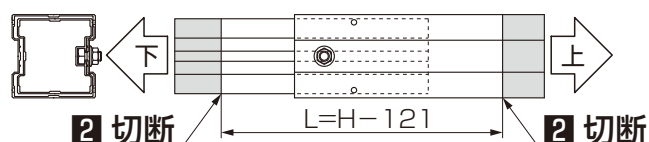
▼ 束柱Bの場合 ▼

- 内面デッキ床高さは423mm以上にしてください。
- 切断は束柱下部、束柱上部を同寸法切断してください。

▼ 束柱Aの場合 ▼



▼ 束柱Bの場合 ▼



6 内面デッキの設置

6-2 束柱の取付け

6-2-1 束柱Aの取付け

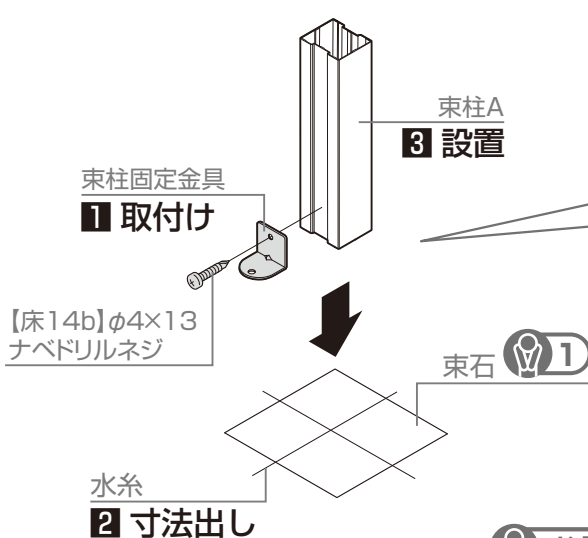
❶: 束柱固定金具を束柱Aに【床14b】で取付け

❷: 間口、出幅方向に水糸を引き束柱設置位置出し

❸: 束柱Aを、束石または基礎部に設置

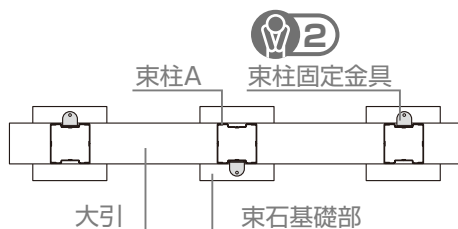
お願い 1

● 束石の水平を確認してください。



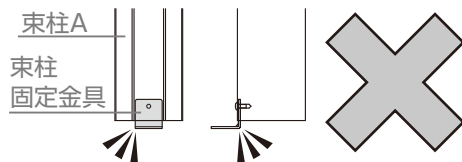
お願い 2

● 束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互になるように設置してください。



お願い

● 束柱固定金具の底面が束柱Aの下面より下にならないように取付けてください。



6-2-2 束柱Bの取付け

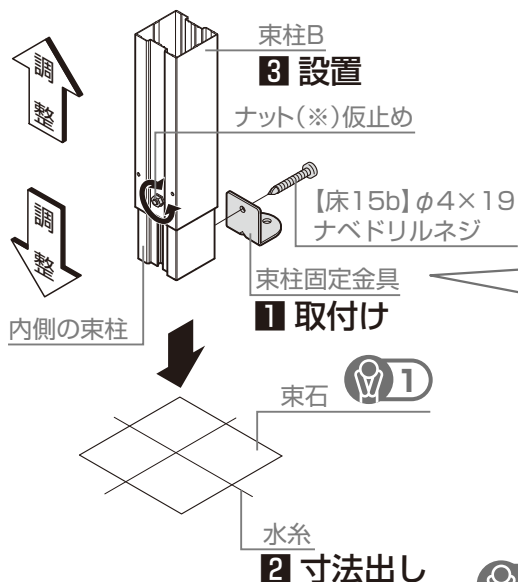
❶: 束柱固定金具を束柱Bに【床15b】で取付け

❷: 間口、出幅方向に水糸を引き束柱設置位置出し

❸: 束柱Bを、束石または基礎部に設置

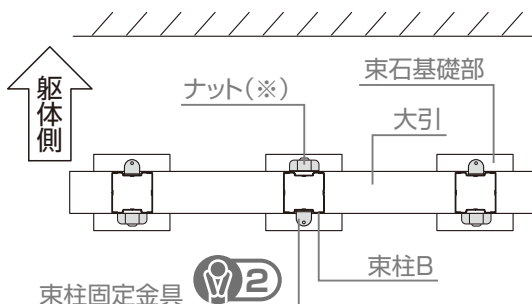
お願い 1

● 束石の水平を確認してください。



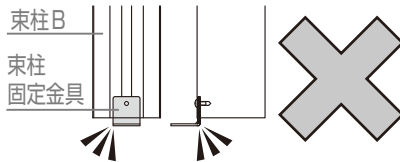
お願い 2

● 束柱Bはナットを緩め、内側の束柱を引き出し、ナット(※)を仮締めしてください。内側の束柱が下になるようにして、束柱固定金具を取付けてください。
● 束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。



お願い

● 束柱固定金具の底面が束柱Bの下面より下にならないように取付けてください。



6 内面デッキの設置

6-3 大引の取付け

6-3-1 大引の加工

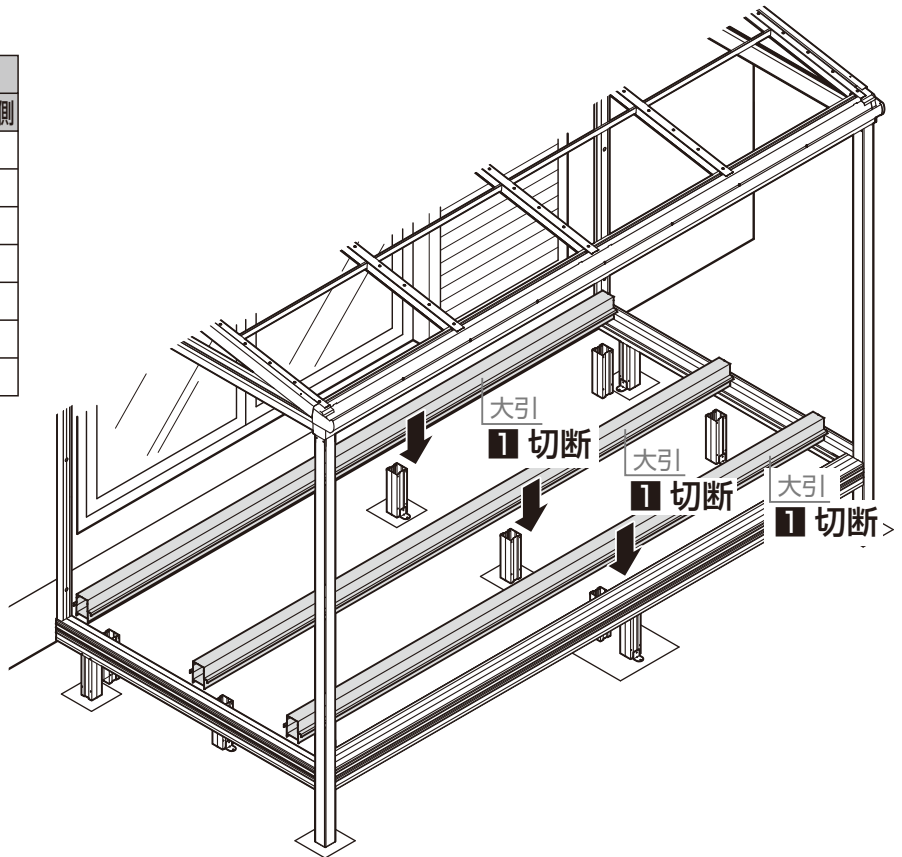
■: 下記の寸法表に合わせて大引きを切断

●大引の切断寸法表

屋根部	ルーム呼称	必要長さ	使用する大引		切断寸法
			外観左側	外観右側	外観左側/右側
単体	1.0間	1740	1800		60
	1.5間	2650	2930		280
	2.0間	3560	3600		40
連棟	2.5間	4470	2930	1800	260/0
	3.0間	5380	2330	3530	480/0
	3.5間	6290	2930	3530	170/0
	4.0間	7200	3600	3600	—

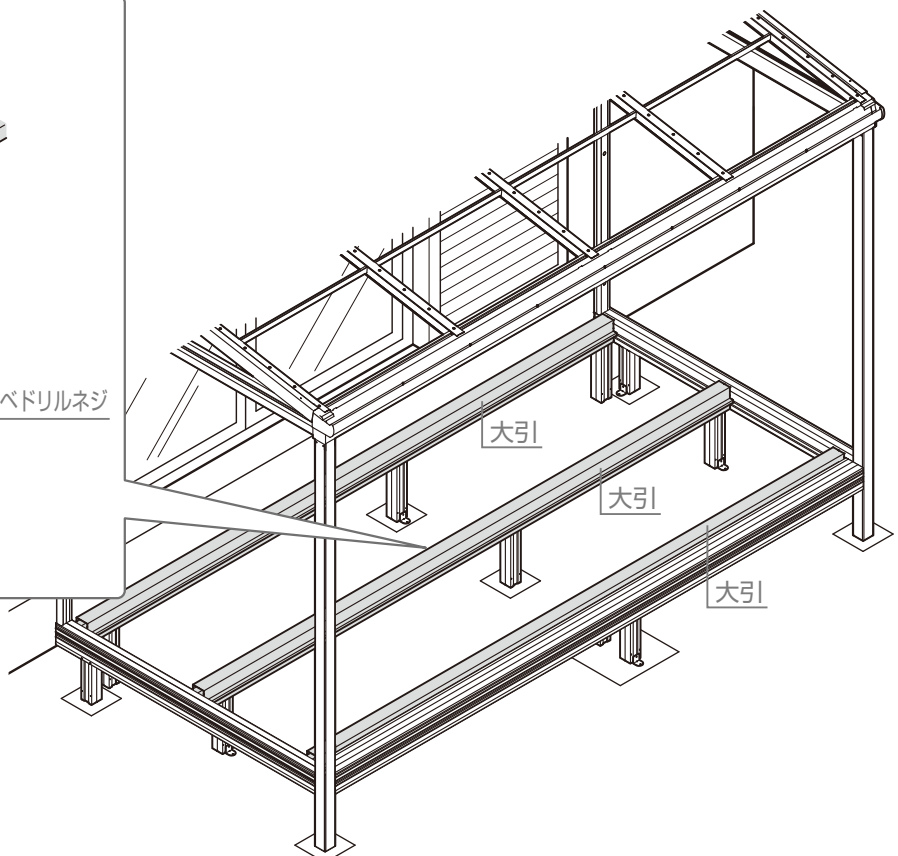
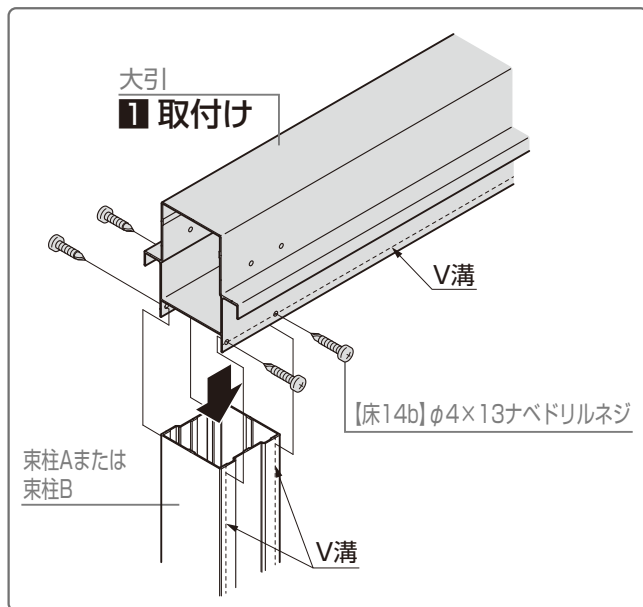
💡 お願い

- 入隅納まりの場合、標準納まりと長さは同じです。
- ・大引きとベース材の隙間
標準：5mm
入隅：3.5mm



6-3-2 大引の取付け

■: 大引を束柱Aまたは束柱BのV溝に合わせて【床14b】で取付け

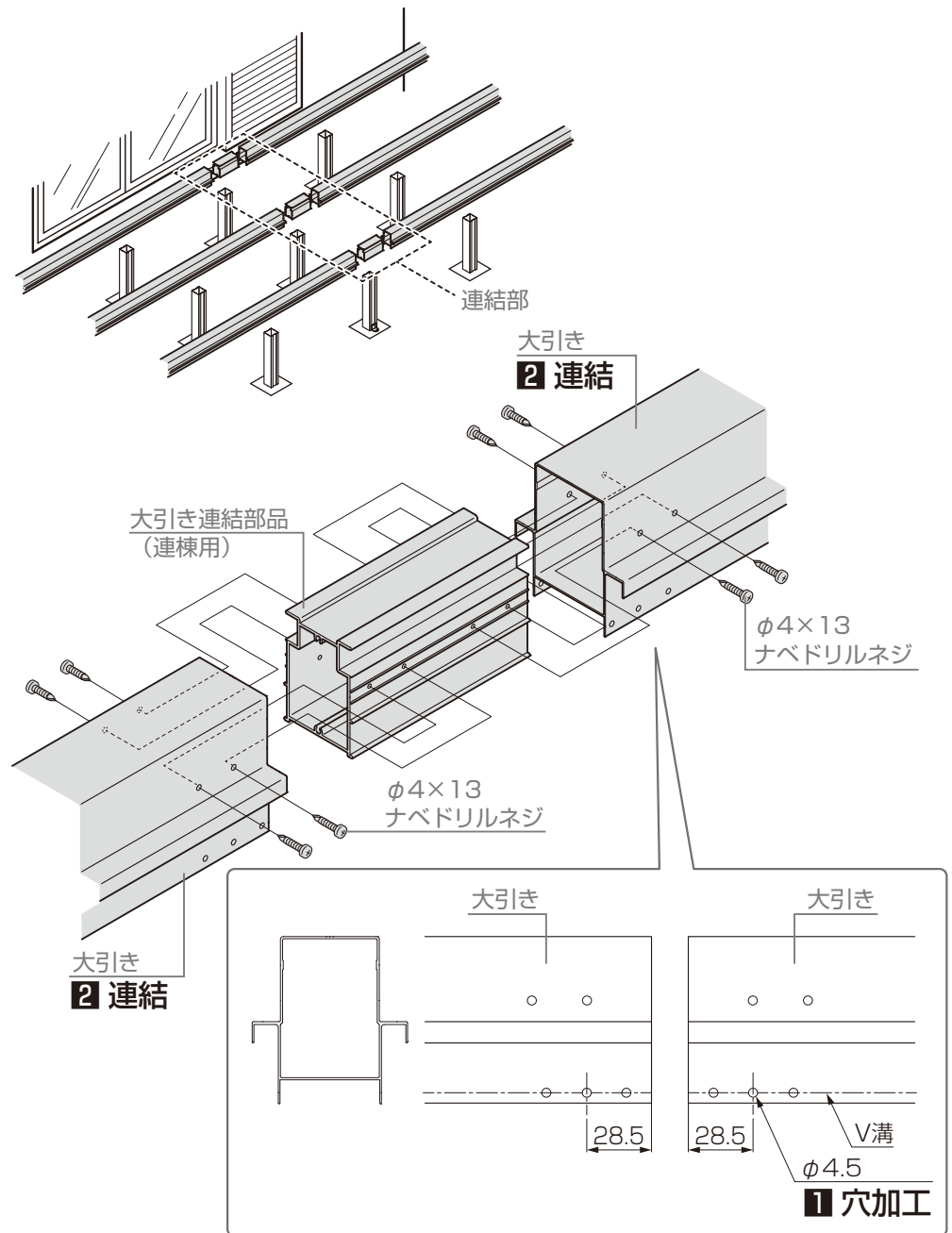


6 内面デッキの設置

6-3 大引の取付け

6-3-3 大引きの連結 ※大引きを連結する場合の作業です。

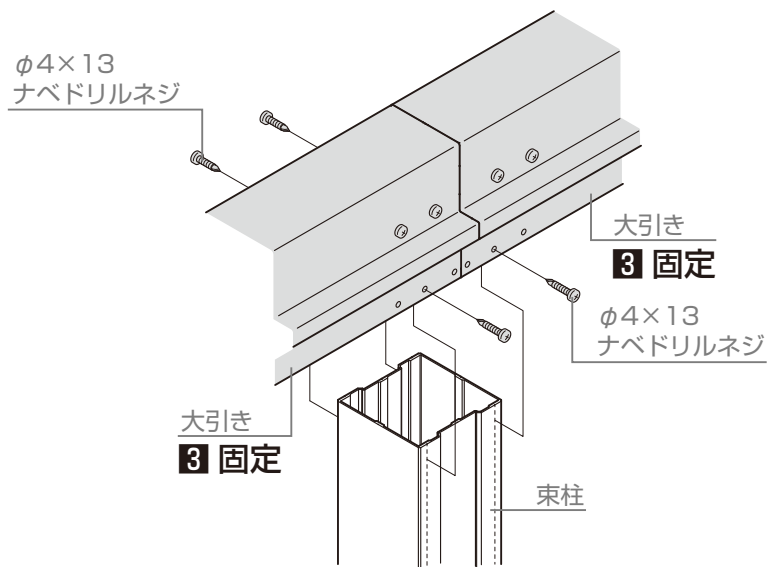
- 1: 大引きに穴加工
- 2: 大引きと大引きを大引き連結部品(連棟用)と $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジで連結



- 3: 大引きと束柱を $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジで固定

お願い

- 躯体側のネジについては一旦大引きをズラして固定後、元の位置に戻してください。
- 大引きの連結部は束柱の中央部でつき合わせて、固定してください。



6 内面デッキの設置

6-3 大引の取付け

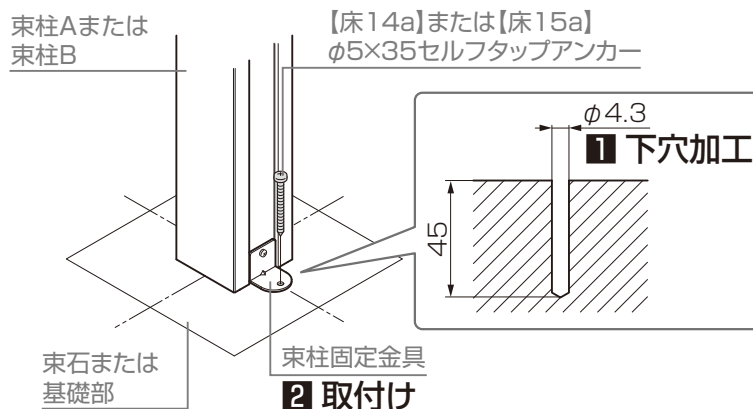
6-3-4 束柱の固定

1: 束石または基礎部に $\phi 4.3$ で深さ45mmの下穴加工

2: 束柱固定金具を束石、基礎部に【床14a】または【床15a】で取付け

お願い

- $\phi 4.3$ 下穴は正確にあけて残ったカスは充分清掃してください。
- 束柱と束石の固定は、束石の水平・直角等を確認後に行ってください。



▼ 束柱Bの場合 ▼

お願い

- 束柱Bはナットを緩め、高さを調節し、水平・直角を確認してからナットを締め、V溝に【床15b】で固定してください。

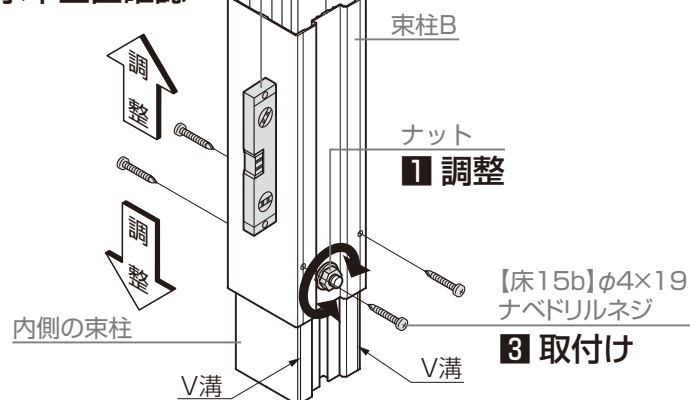
1: 束柱Bのナットを緩め、高さ調整

2: 束柱Bの水平垂直の確認

3: 束柱Bの内側の束柱Bに【床15b】で取付け

水準器等

2 水平垂直確認



6 内面デッキの設置

6-4 根太の取付け

6-4-1 根太の取付け位置の確認

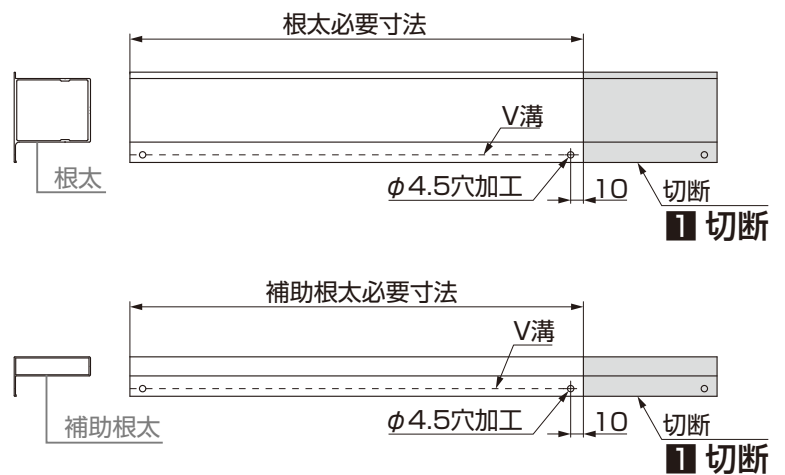
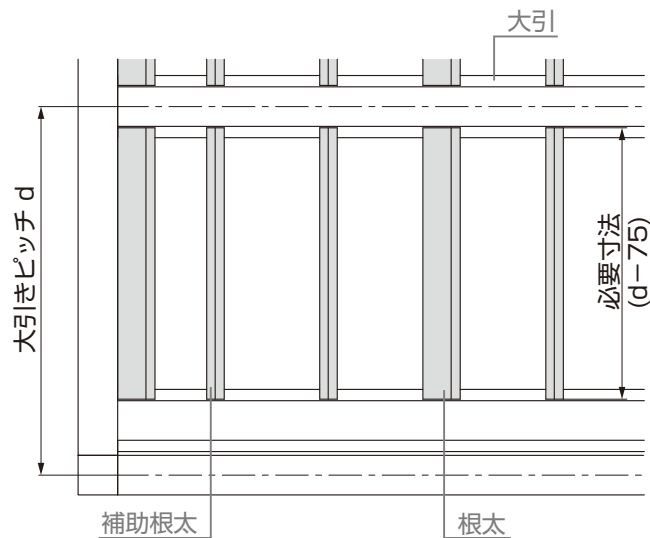
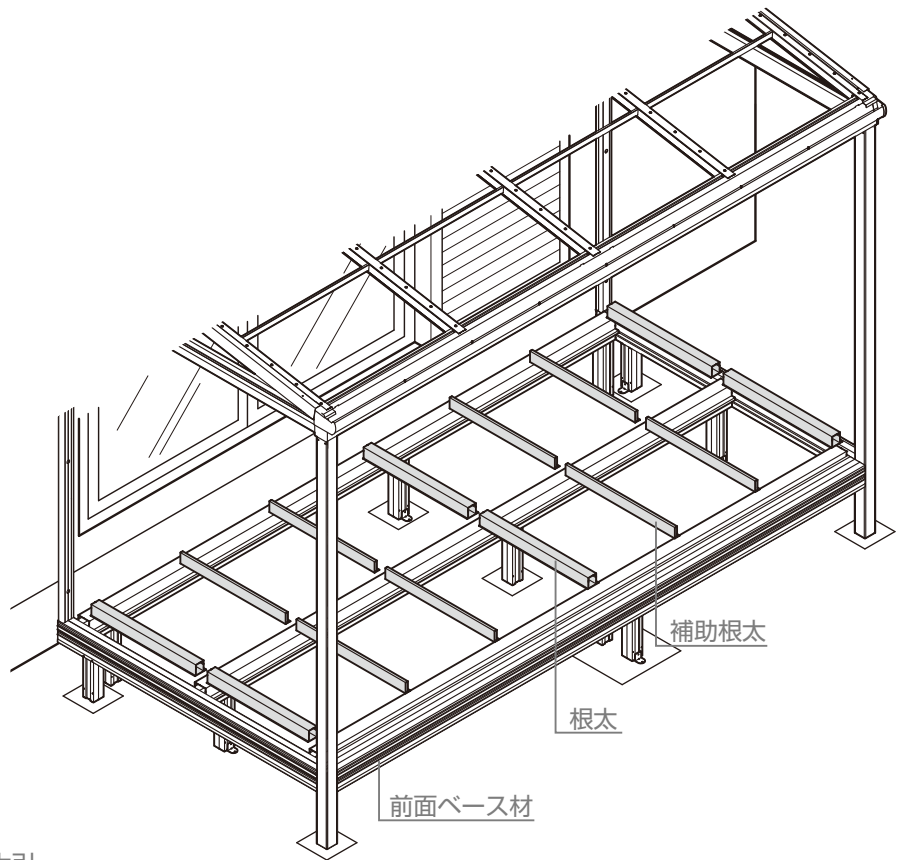
- ❶: 根太、補助根太の取付位置を確認して、切断
- ❷: 大引きに根太取付け位置をケガく

補 足

- 大引きのピッチによっては、根太の切断が必要になります。
下表を参照し、根太を切断してください。

●根太、補助根太の切断寸法表

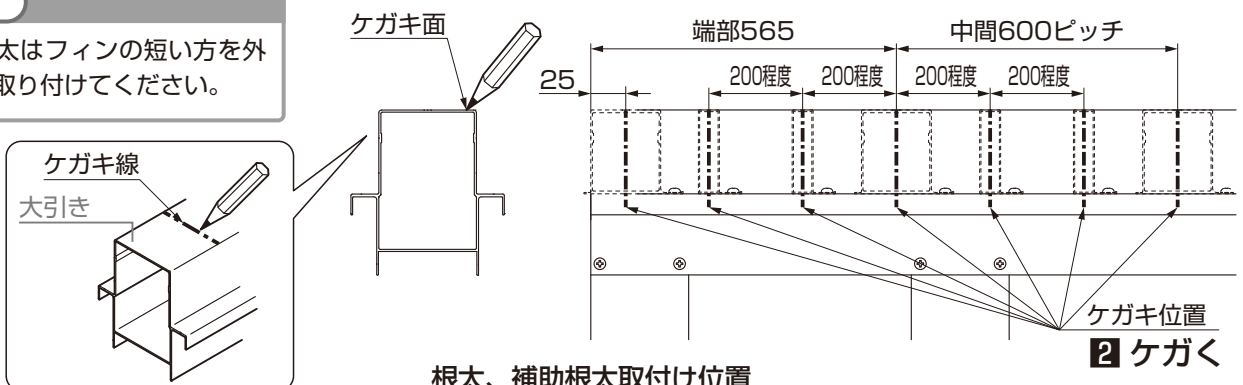
ルーム呼称	使用する根太	必要長さ	切断寸法
4R	1055	935	120
6R	1055	1002.5	52.5
	525	457.5	67.5
9R	1055	702.5	352.5
	1125	1125	—
	525	457.5	67.5



根太、補助根太の切断

お願い

- 端部の根太はフィンの短い方を外側にして取り付けてください。



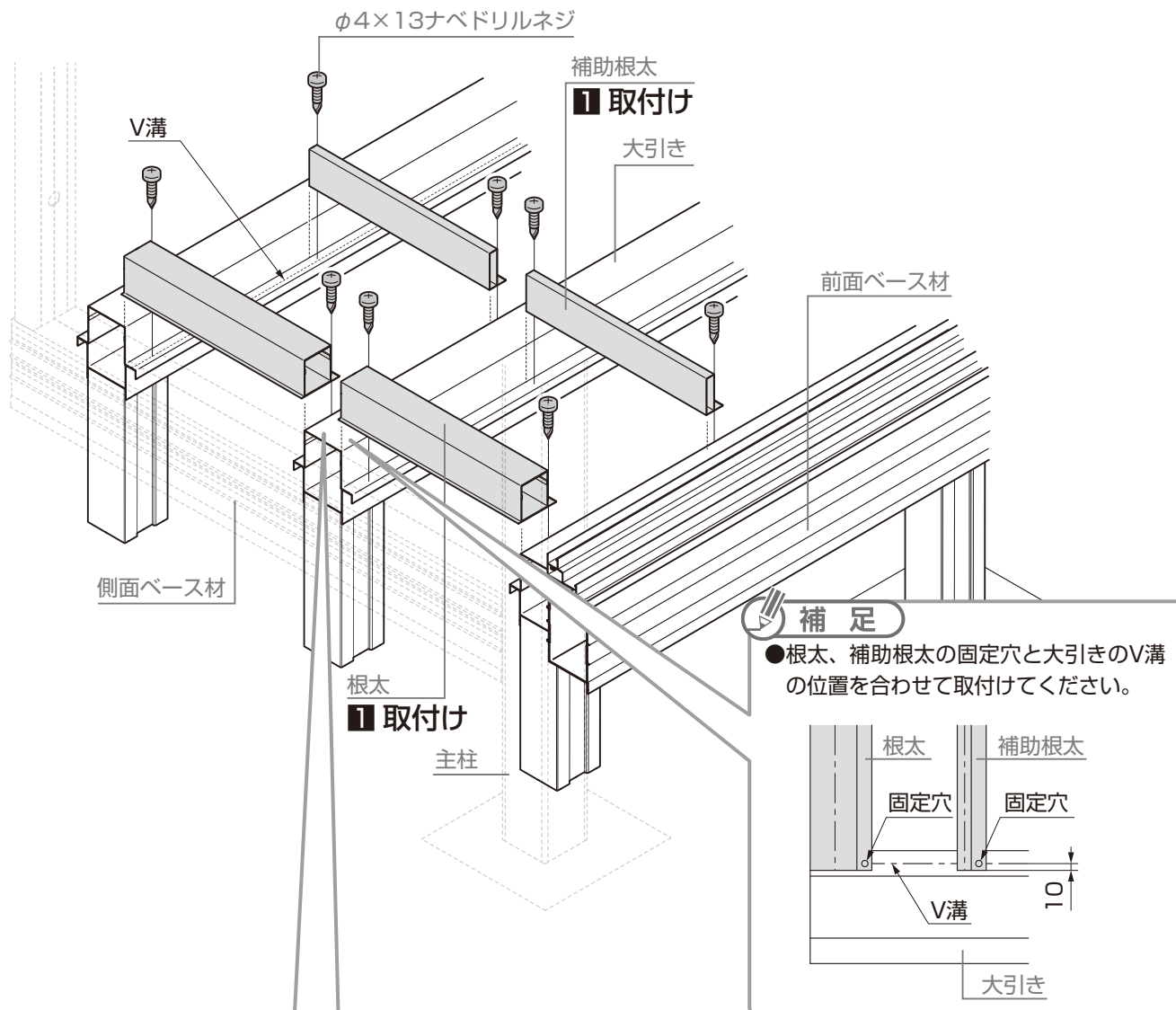
根太、補助根太取付け位置

❷ ケガく

6-4 根太の取付け

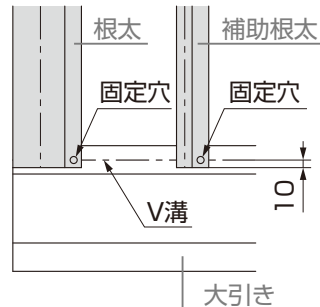
6-4-2 根太、補助根太の取付け

■: 根太、補助根太を大引きのV溝に合わせてφ4×13ナベドリルネジで取付け



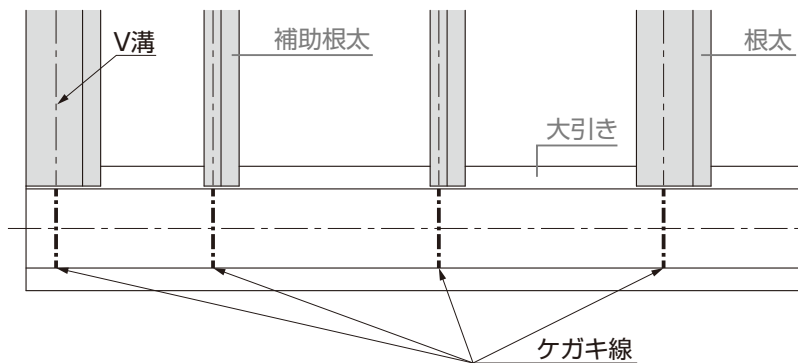
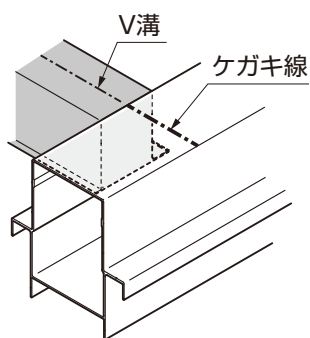
補 足

●根太、補助根太の固定穴と大引きのV溝の位置を合わせて取付けてください。



補 足

- タイル連結部には根太を取付けます。タイル中間部分には補助根太を取付けます。
- 「6-4-1 根太の取付け位置の確認」の工程でつけたケガキ線と根太のV溝を合わせて取付けてください。



6 内面デッキの設置

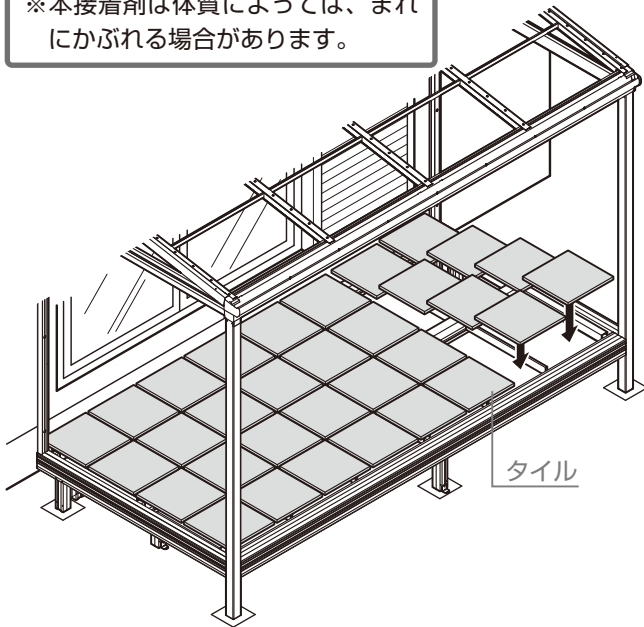
6-5 タイルの取付け

6-5-1 接着剤の塗布

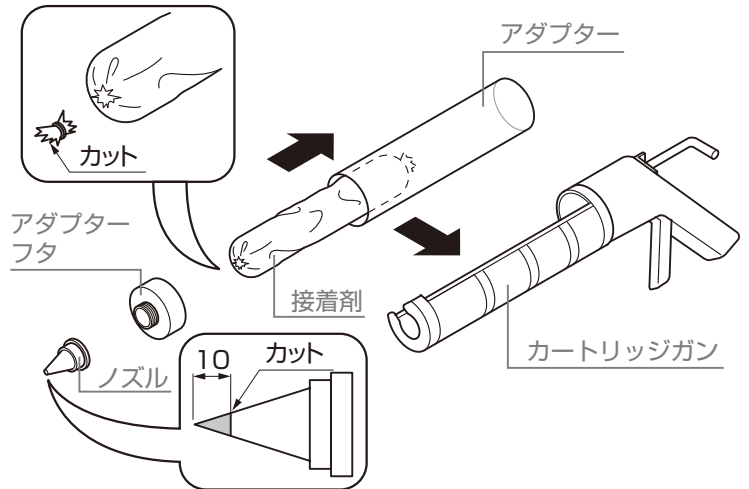
1: 接着剤を塗布

！ 注意

- 作業時には手袋、長袖等を着用して皮膚を保護してください。
- ※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれる場合があります。



●カートリッジガンの準備



- ①ノズルの先端をカットしてください。(上記寸法は目安です。)
- ②接着剤の先端をカットして、アダプターに挿入し、アダプターフタとノズルをはめてください。
- ③アダプターをカートリッジガンに取付けてください。

💡 お願い

- 部材表面にゴミ、ホコリ、水濡れ等がないか確認してください。水濡れなどがある場合はふき取ってから接着剤を塗布してください。
- 接着剤塗布からタイルを貼付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行なってください。

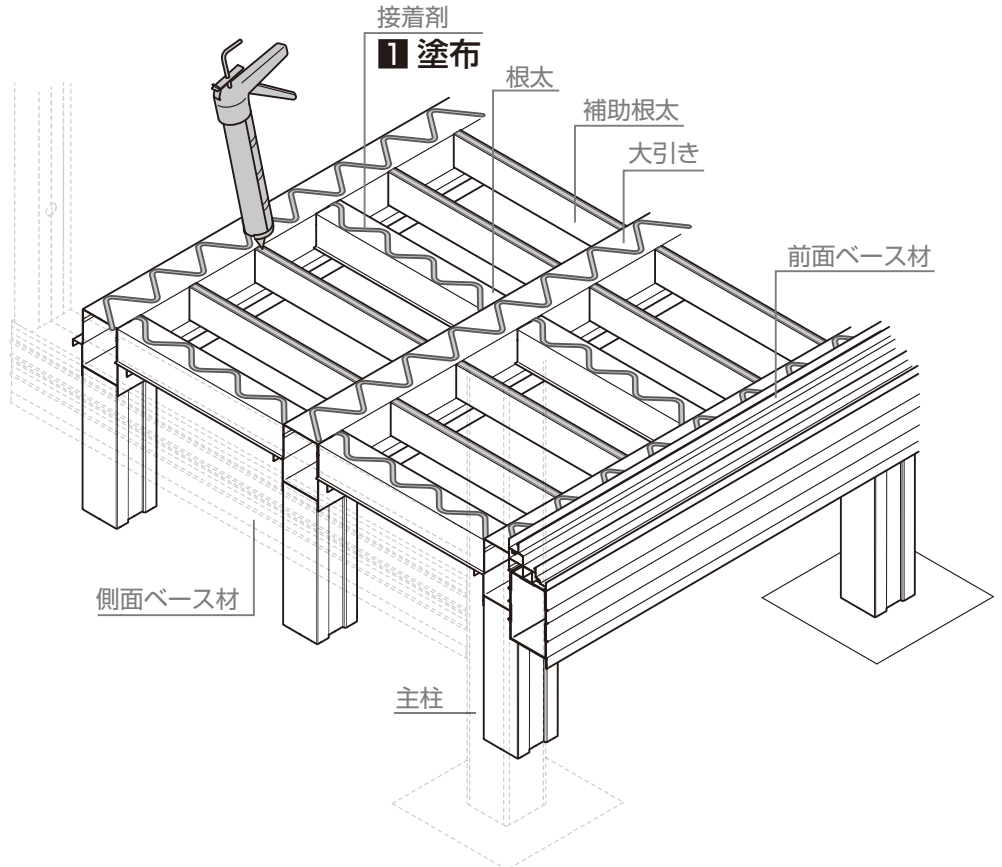
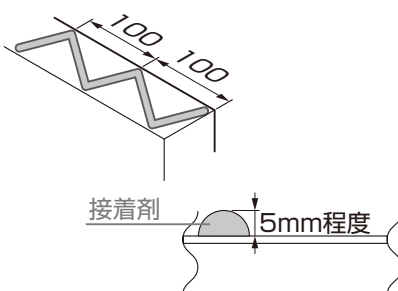
接着剤の初期硬化目安



🔧 補足

【塗布の目安】

- 大引き、根太上をジグザグに塗布してください。
 - ※補助根太上はまっすぐ塗布
- 〔使用量目安：タイル8枚分／本〕



6 内面デッキの張付け

6-5 タイルの取付け

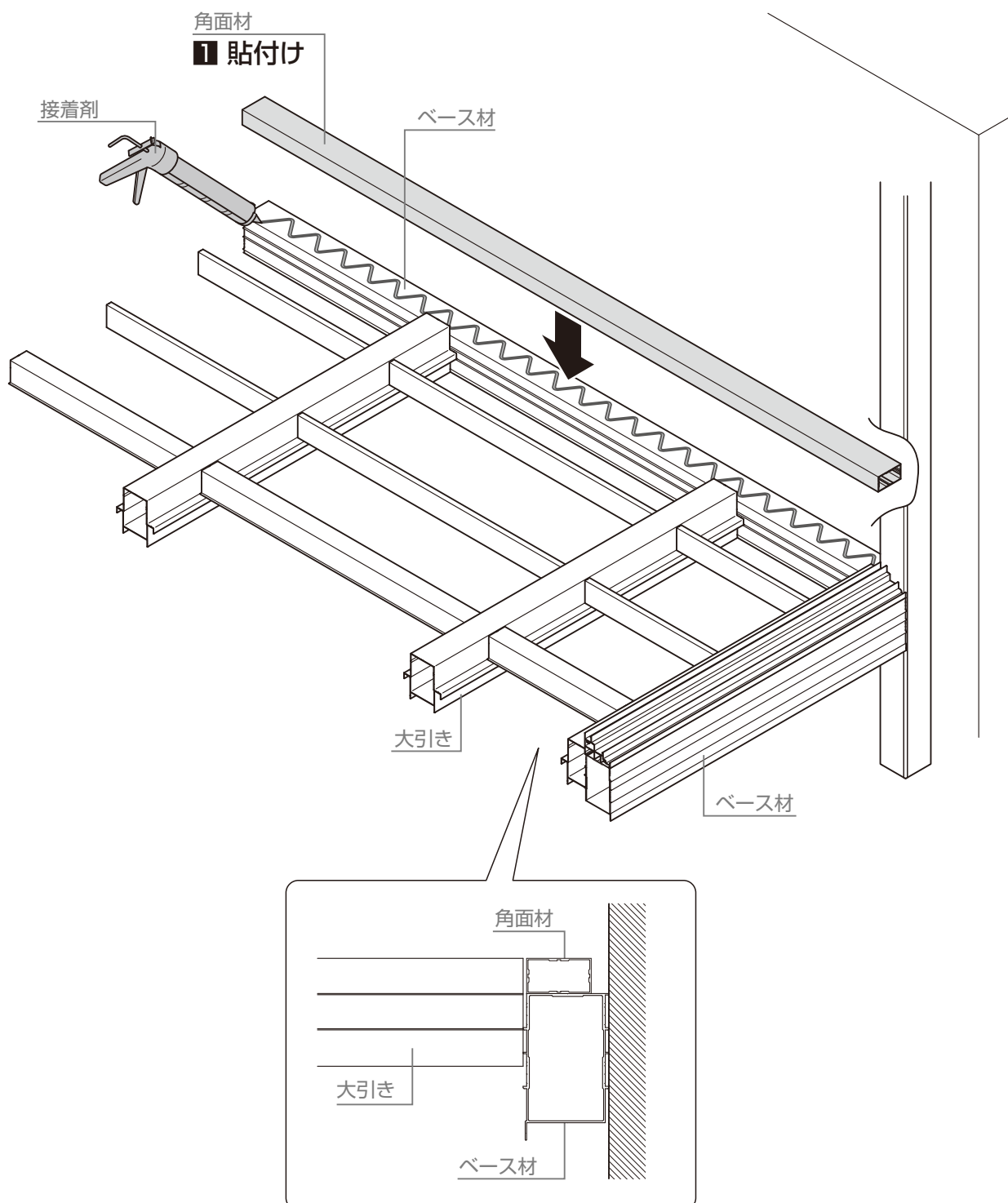
6-5-2 角面材の取付け ※入隅の場合の作業です。

■:角面材を入隅側のベース材上に接着剤で貼付け

🔧 お願い

- ベース材と同じ長さでルーム内に合わせてください。

▼ 入隅の場合 ▼



6 内面デッキの張付け

6-5 タイルの取付け

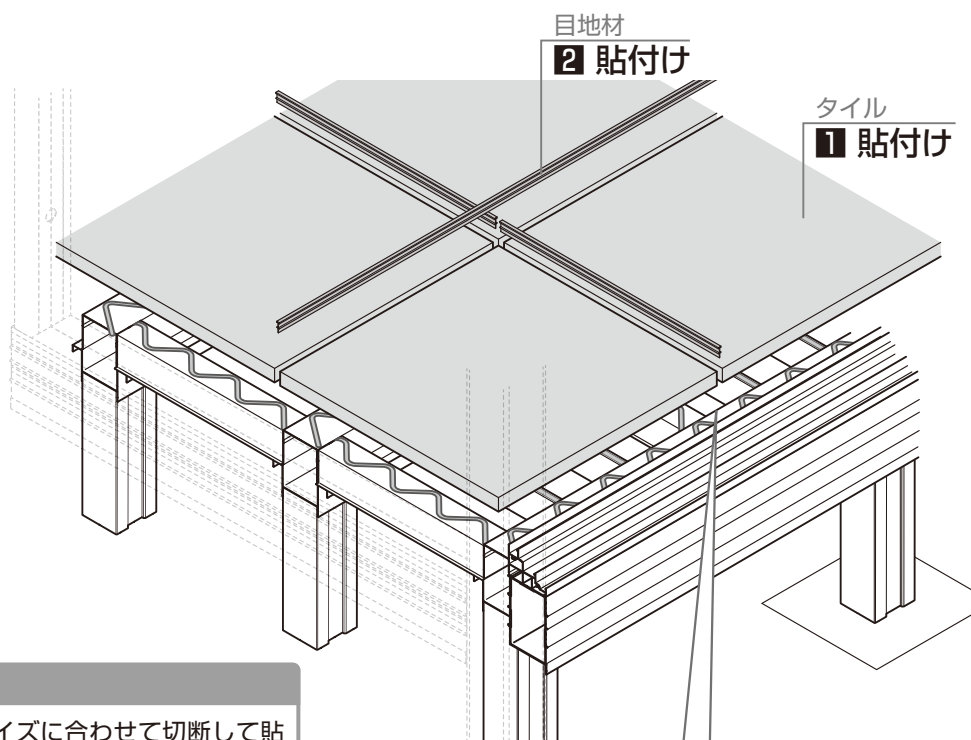
6-5-3 タイル、目地材の貼付け

①: タイルを根太に貼付け

②: 目地材を貼付け

お願い

- タイルの切断寸法は図面寸法を参照してください。
- 目地材が足りない場合は余りから使用してください。

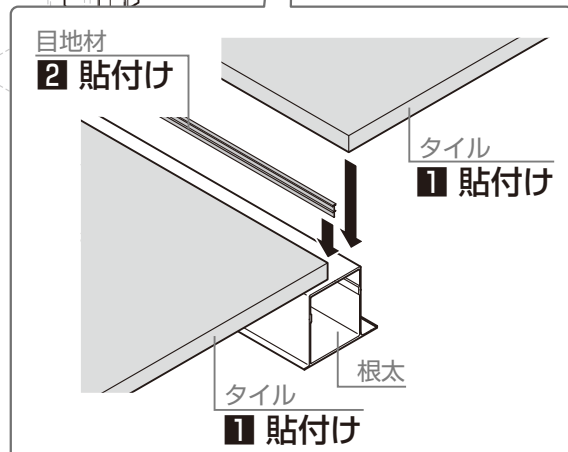
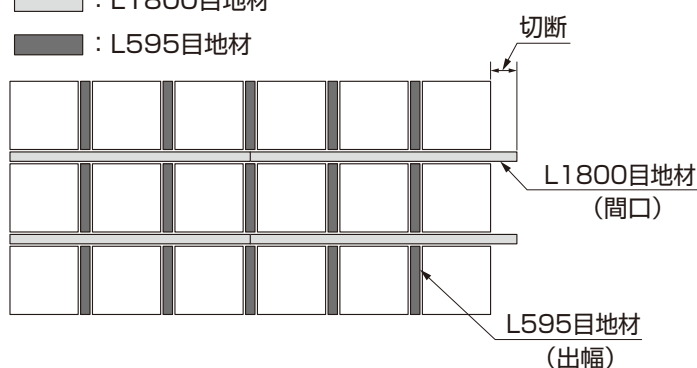


お願い

- 目地材は間口勝ちの納まりとしてサイズに合わせて切断して貼付けしてください。

□ : L1800目地材

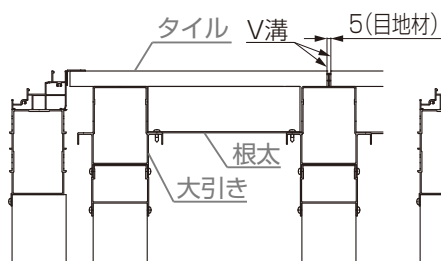
■ : L595目地材



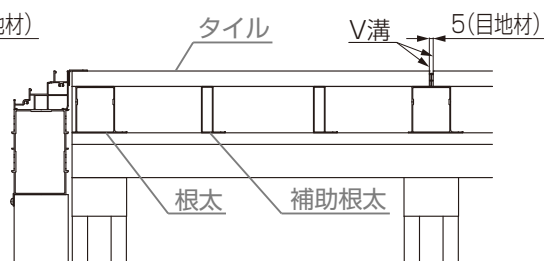
お願い

- 根太、大引きのV溝を目安として、端部のタイルから順番に貼付けてください。

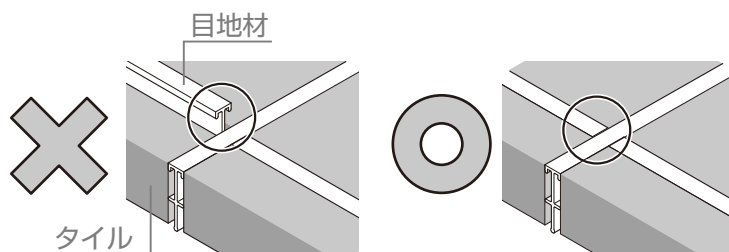
【間口方向断面】



【出幅方向断面】

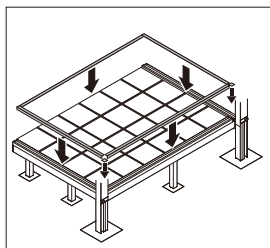


- 目地材の通りがズレないように位置を調整しながら貼付けしてください。
- 目地材の突き当て部が浮き上がらないように、しっかり押し込んでください。

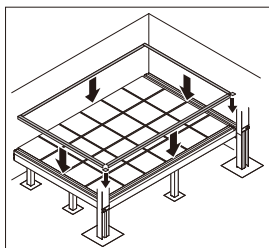


6 内面デッキの設置

6-6 デッキ見切り材とコーナー部品の貼付け



▲ 基本タイプ ▲

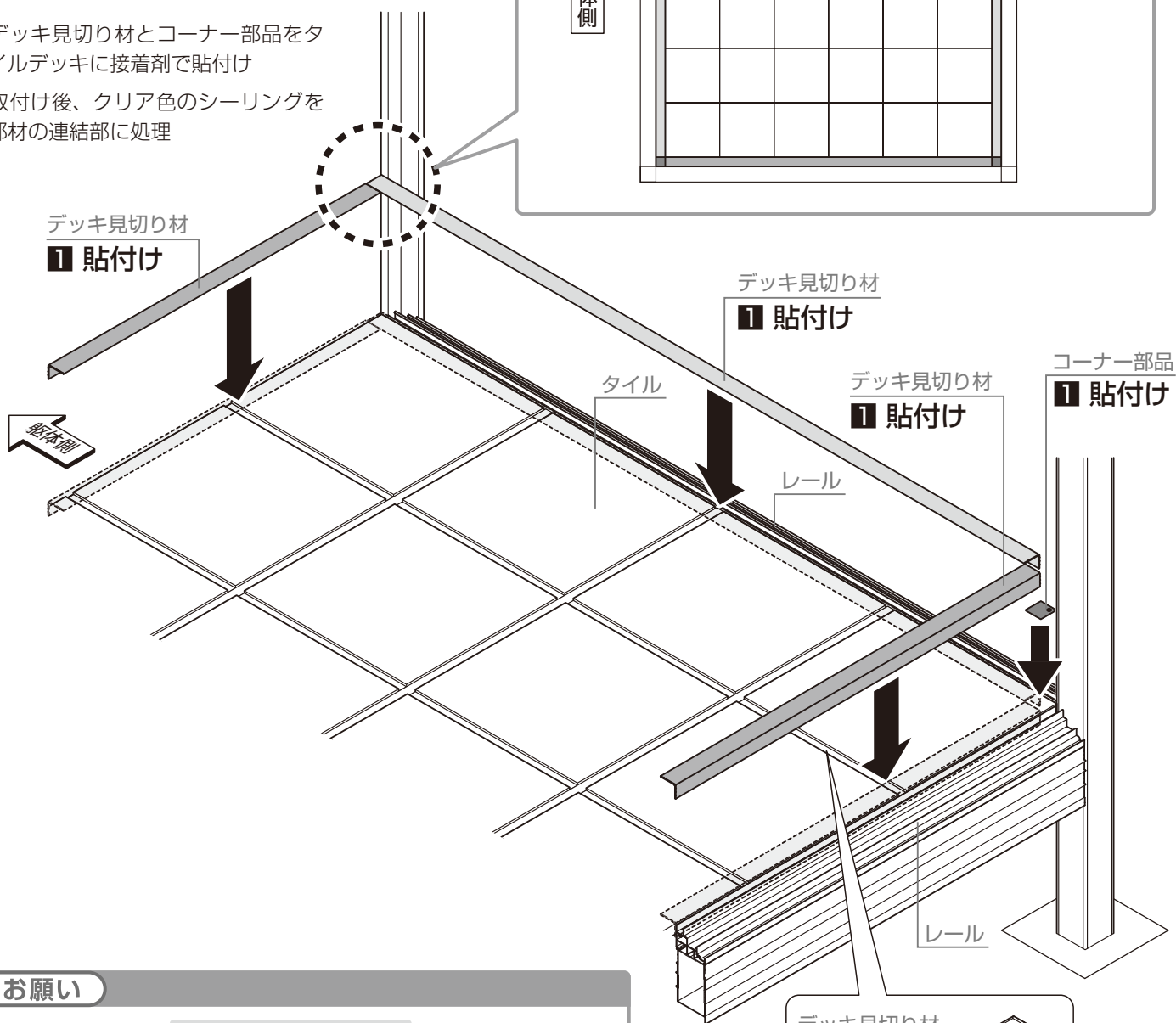
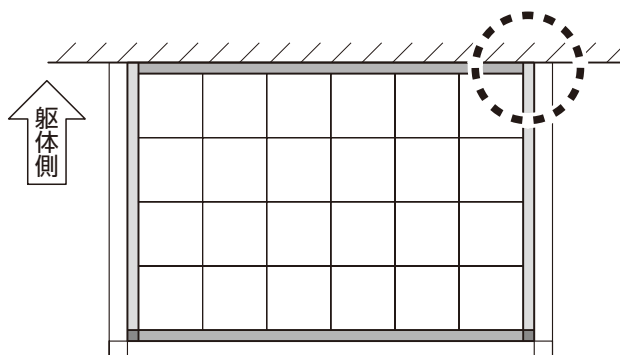


▲ 入隅タイプ ▲

- 1: デッキ見切り材とコーナー部品をタイルデッキに接着剤で貼付け
- 2: 取付け後、クリア色のシーリングを部材の連結部に処理

💡 お願い

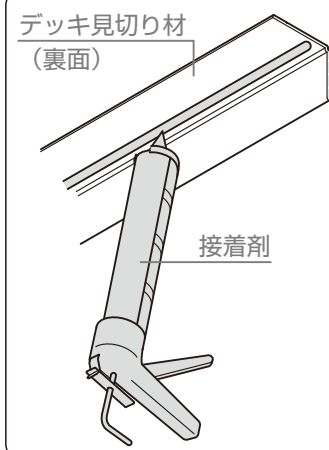
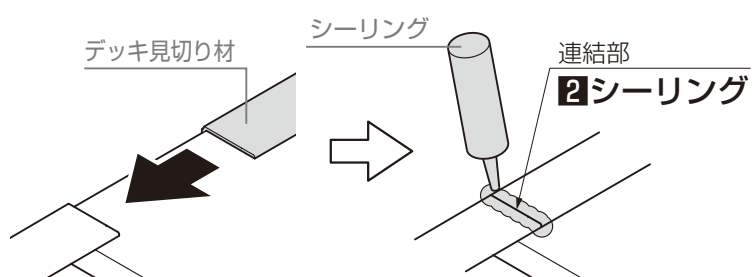
- 側面の見切り材は躯体に突き当て、躯体側の見切り材は内々に納めてください。(側面勝ち納まり)



💡 お願い

▼ 連結する場合 ▼

- デッキ見切り材を突き当てて貼付けてください。



7 収納網戸の取付け

7-1 下枠の取付け ※下枠スペーサーを取付けた後の作業です。

1: 下枠を床に仮置き

お願い

- 下枠の断面の中心が縦枠取付材またはコーナー縦枠のV溝に合うように仮置きしてください。

2: 下枠キャップを縦枠取付材に突き当て

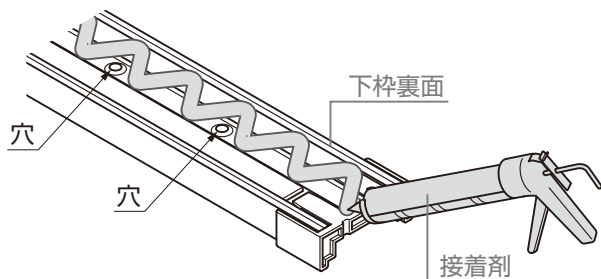
お願い

- 下枠の飲み込み寸法が同じになるように、下枠キャップを左右に移動させて調整してください。

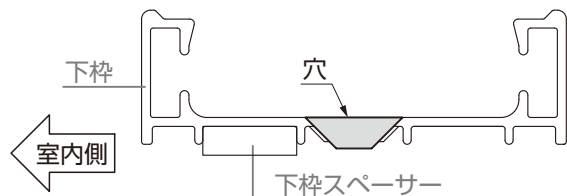
3: 下枠をデッキに接着剤で取付け

お願い

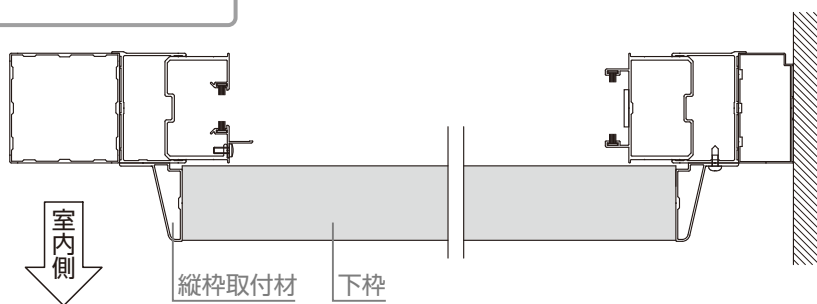
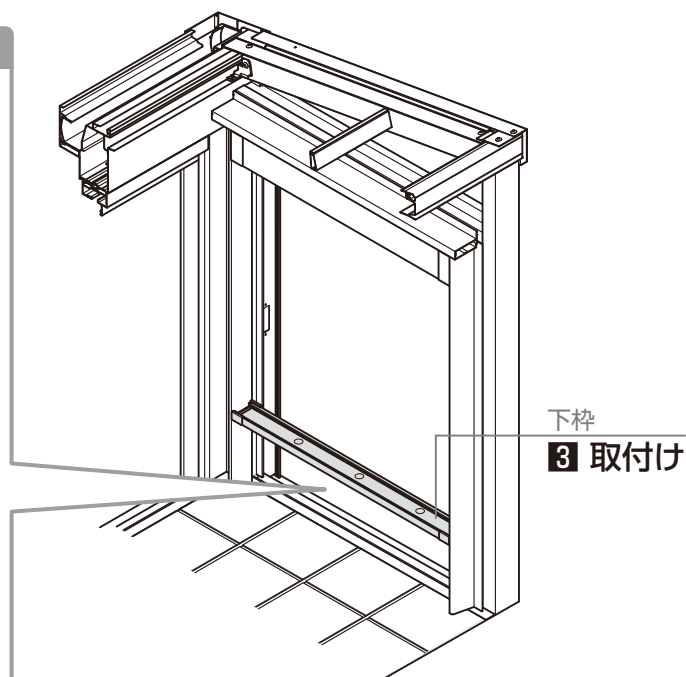
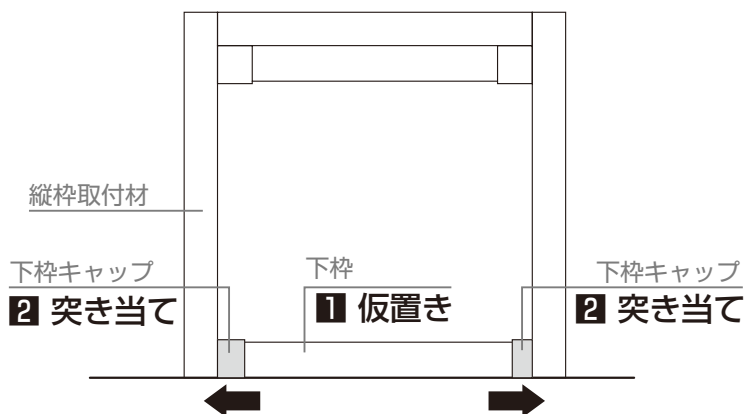
- 穴付近に接着剤がつかないように注意してください。



- 下枠のレール内の穴をシーリングで塞いで平滑にしてください。収納網戸の作動不良が起こります。



- シーリングが固まるまでは穴部のシーリングとワイヤ等の網戸部材が接触しないよう、養生してください。



お願い

- 以降の作業は「ガーデンルームGF 収納網戸(E479)」の取付説明書に戻ってください。

梱包明細表

【1】角面材

名 称	略 図	員 数	
		2000	4000
角面材		1	—
		—	1

取説コード

EXM-102

JZZ638375
202212_1049